平成 ３０ 年度
事　業　報　告　及　び　決　算　書

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

目　　次

事業報告

１事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

２事業区分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

３事業区分別事業報告・・・・・・・・・・・・・・・3

公益目的事業１・・・・・・・・・・・・・・・・3

公益目的事業２・・・・・・・・・・・・・・・・17

公益目的事業３・・・・・・・・・・・・・・・・38

収益事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43

４文化・スポーツ拠点施設等の管理運営・・・・・44

５庶務・管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52

財務諸表

貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56

正味財産増減計算書・・・・・・・・・・・・・・・57

正味財産増減計算書内訳表・・・・・・・・・・・59

財務諸表に対する注記・・・・・・・・・・・・・・・62

附属明細書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64

財産目録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65

監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・67

❶ 事業概要

平成30年度は、松山市総合コミュニティセンターをはじめ、6施設の指定管理最終年として、利用者の安心・安全を最優先とし、効率的で快適な施設の管理運営に努めるとともに、施設の特性を活かし、市民ニーズを的確に捉えた文化振興事業、スポーツ振興事業、埋蔵文化財保存・普及啓発事業、公平かつ公正な拠点施設運営事業を積極的に展開した。

文化振興事業では、多くの市民の方から支持され、第25回目を迎えた「市民ミュージカル」公演をはじめ、財団と伝統文化の指導者が一体となり、民俗芸能、邦楽、茶道、将棋などの伝統文化を体験し､地域文化と次世代を担う人材を掘り起こすことを目的とした伝統文化こども伝承事業など計40事業に参加した延べ66,235人が多彩な文化に触れ、感じる機会を創出した。

スポーツ振興事業では、オリンピックや世界陸上大会に出場し、活躍している市川華菜選手、松下祐樹選手、和田麻希選手をゲストに迎え、クリニックやトップレベルの陸上選手を目指している参加者へのアドバイスなどを行った「市民スポーツフェスタ」や地元大学と連携・協働事業として開催した「スポーツ・レクリエーションフェスティバルin風早」などの大会事業に加え、幅広い世代を対象とした健康・スポーツ教室事業など計63事業を展開し、延べ61,124人の参加者が自然に親しみ、体を動かすことの楽しさを実感できる魅力ある事業を実施した。

埋蔵文化財保存・普及啓発事業では、松山市考古館と東京国立博物館との相互貸借事業として開催した特別展「松山の至宝　東京国立博物館所蔵品・里帰り展」をはじめ、公民館、学校等に学芸員が出向く｢考古館出前教室｣などの体験事業のほか､発掘調査など計13事業を実施し､延べ69,058人の参加者が郷土の歴史を知り、学ぶ機会を提供した。

拠点施設運営事業では､利用者が安心して使用できるよう努めるとともに､これまでの管理運営の実績・知識を最大限に活かして施設管理に取り組んだ。なお、平成30年7月豪雨により松山市野外活動センターが大きな被害を受け、12月19日の一部開所までの166日間を休業とした。

収益事業では、ホール・会議室等について、従来の公益目的以外の貸与にも柔軟に対応し、利便性を図るとともに、駐車場、売店の運営を行った。

❷ 事業区分

公益目的事業１　　(40事業)　　(定款　第４条第１項第１号事業及び第４号事業)

多様な感性や創造力を高める機会や様々な学習機会を提供し、市民が生活に潤いや豊かさを感じることができる環境の実現に努めた。

公益目的事業２　　(63事業)　　(定款　第４条第１項第２号事業及び第４号事業)

トップアスリートのプレーを直接見る感動、仲間と共に汗を流して感じる充実感や達成感など、市民がスポーツを通じて生活に生きがいや喜びを感じることができる環境の実現に努めた。

公益目的事業３　　(13事業)　　(定款　第４条第１項第３号事業及び第４号事業)

貴重な埋蔵文化財を後世に伝えるため、土地開発等に際し発掘調査を行い、出土した遺物の保存等を行った。

収益事業　　(4事業)　　(定款　第４条第２項第１号事業及び第２号事業)

文化･スポーツ施設における公益目的事業以外への貸与及び駐車場・売店の適正な運営に努めた。

❸ 事業区分別事業報告

公益目的事業

公益目的事業１

（１）文化振興に関する事業の企画、実施、調査研究及び普及啓発に関すること
（定款第4条第1項第1号事業）

（２）松山市から受託する文化・スポーツ拠点施設等の管理運営
（定款第4条第1項第4号事業）

①　公演事業

市民が文化に接し、体感し、魅力を広める機会を提供するために、文化拠点施設であるホール等を活用する自主公演や施設の特徴を活かした活動発表を始め、地域住民が主体となって地域文化を紹介する機会を提供し、これを市民が等しく享受できる事業

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**第25回市民ミュージカル「雪の女王～氷結晶の鏡が砕け散って～」**				
開 催 時 期	7月15日、16日	回数	4回	会場	キャメリアホール
入 場 者 数	4,220人	前年度入場者数			4,121人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	9,120,000円	9,119,256円			9,558,000円

【内容】

市民の芸能文化への興味を喚起し、文化活動への意識向上を目的として市民から出演者、ボランティアスタッフを広く募集する。今回は初公演となる演目「雪の女王」である。オーディションに受かった出演者は、約4ヶ月間（金・土曜日）専門家による演技・歌唱指導を受けてステージに立ち、市民演者による市民のためのミュージカルを4回上演した。

【結果】　募集定員（　―　人）　応募者数（ 235人）　出演者数（ 152人）

ボランティアスタッフと応援の財団職員の協力を得て、2日間で計4回の公演を行い、観客数は延べ4,220人であった。こどもから高齢者まで幅広い年代層の皆様に観覧いただき、演者の熱意と観客の温かい喝采が市民ミュージカルならではの一体感を醸し出していた。今年は25回目の公演であり、第2公演時に来場者数10万人突破記念イベントを行った。4公演のうち第2公演が一番観客数が多く、成功のうちに終えることができた。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**市民文化フェスタ　２０１９**				
開 催 時 期	3月2日	回数	1回	会場	キャメリアホール・コミュニティプラザ 外
参 加 者 数	3,000人	前年度参加者数			6,000人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	3,638,000円	2,329,459円			0円

【内容】

本事業は、著名人による文化講演会に始まり、財団主催教室の発表会及び市民による文化活動の発表などの参加型イベントを開催し、いろいろな文化に触れて、感じて、学んでもらう場として文化が薫るまちづくりを推進するものである。

【結果】　講演会募集定員（ 1,000人）　応募者数（ 900人）　参加者数（ 800人）

北村晴男弁護士を招いた講演会は、多数の聴講者が来場し盛況であった。続いて開催したふれあいオンステージでは、財団主催教室の松山シルバーコーラスや、公民館等で活動する市民の文化グループ（踊り、演奏等）が、日頃の練習成果を披露した。

松山市立中央図書館の協力による「図書館出前おはなし会」や「昔遊び体験」を開催したこども館は、数多くの親子連れで賑った。また、コミュニティプラザに美味いもん空間、正面広場におやじ市場等を設置したことで、市民の交流の場としても盛況であった。（フェスタ延べ参加人数3,000人）

＜① 公演事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**星の音楽会 ～幼児と楽しむクラシックコンサート～**				
開 催 時 期	6月17日、12月9日	回数	3回	会場	コスモシアター
参 加 者 数	604人	前年度参加者数			791人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	420,000円	370,141円			319,000円

【内容】

クラシック音楽に接する機会が少ない未就学の乳幼児と保護者を対象としたプロによる演奏会を実施する。プラネタリウムの星空のもと親しみやすいクラシック音楽や童謡等、季節に合わせた楽曲を演奏する。当事業は、乳幼児期の情操教育を目的とし、普段はコンサートに行きづらい子育て世代が参加し易いコンサートを開催するものである。

【結果】　募集定員（840人）　応募者数（ 664人）　参加者数（ 604人）

この事業は、プラネタリウムの特性を活かし、星空のもとプロによる本格的なクラシック音楽の演奏会であり、参加者からは好評を得ている。6月及び12月の午前の部では定員に近い応募があった。しかし、12月の午後の部の演奏会は、定員を下回る応募であった。参加者から「午後に昼寝をさせる家庭が多い」との声が多かったことから今後は、午前中のみの開催にし、多くの参加者を募る。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**コスモシアター上映事業**				
開 催 時 期	通年	回数	1,421回	会場	コスモシアター
入 場 者 数	23,632人	前年度入場者数			25,348人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	10,526,000円	9,075,770円			5,130,060円

【内容】

惑星や星座等を題材にし、幼児をはじめ、子どもや家族連れに人気があるキャラクターが登場するデジタル番組を上映した。
【上映番組】ドラえもん、忍たま乱太郎、ポケモン、はなかっぱ　外

【結果】

夜空に輝く星や星座に関する番組を上映し、一般市民はもとより学校や幼稚園・保育園、福祉施設など多くの団体に、天文等について楽しみながら学べる機会を提供した。また、午後の投影を増やしたために投影回数が増加となった。

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	Dance Battle in Matsuyama vol.6				
開 催 時 期	1月13日･14日	回数	1回	会場	中ホール 外
会場入場者数	567人	前年度入場者数			547人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,200,000円	1,198,864円			1,149,500円

【内容】

国内の著名なストリートダンサー3人を審査員として招き、小学生から大人までが見て踊って楽しめるストリートダンスの大会である。ストリートダンスを楽しむ市民を増やし、参加者の技能向上を図ることを目的とする。種目は、1対1で競うソロバトルのほか、2人以上で踊るコンテスト、10人以上のチームで踊りを披露するショーケースを行うとともに、大会前日にはワークショップを開催した。

【結果】参加者数298人（ソロ111人、コンテスト35組131名、ショーケース24人、ワークショップ32名）

6年目を迎え、昨年度を上回る567人の参加があった（参加者298人・観覧者269人）。特にコンテスト（団体戦）の参加者数が増えており、個人での参加よりダンススタジオで日頃の練習の成果を発揮する団体戦を楽しむ傾向にあると考えられる。また市内のみならず、市外や県外からも多くの参加が見られた。

＜① 公演事業＞

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**劇団四季「こころの劇場」松山公演**				
開 催 時 期	2月19日	回数	2回	会場	大ホール
入 場 者 数	3,178人　(2回公演)	前年度入場者数			1,750人　(1回公演)
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	600,000円	599,850円			0円

【内容】
当財団と劇団四季による共催事業として、本格的ミュージカル『こころの劇場』をサポートする。松山市内の小学校6年生を招待してプロの俳優によるミュージカルを鑑賞することによって、「命の大切さ」「人を思いやる心」「信じ合う喜び」など、人が生きていくうえで最も大切なものを会得していただくことを目的に開催する。

【結果】
松山市内の小学校から35校の応募を受け、イソップ寓話の「王様の耳はロバの耳」を児童3,025人と教員153人に観劇していただいた。公演中は俳優と一緒に歌うシーンがあるほか、公演後には俳優がロビーで小学生を見送ってくれるなど、随所に子どもたちを飽きさせない演出があった。こうした事業は、日常生活では味わえないミュージカルの素晴らしさや楽しさを子どもたちに知ってもらえる良い機会となった。

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**【新規事業】よんでんアンサンブルニューイヤーコンサート**				
開 催 時 期	1月26日	回数	1回	会場	中ホール
入 場 者 数	346人	前年度入場者数			―
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	180,000円	277,369円			355,400円

【内容】
公益財団法人よんでん文化振興財団派遣助成事業として、市民に対し気軽に良質な音楽を鑑賞することができる機会を提供するとともに、芸術文化に対する意識の高揚を図る。

【結果】
松山市でのよんでんアンサンブルの公演は初開催で、松山出身者を中心にした若手演奏家７人で構成された演奏会である。松山と縁のあるＮＨＫスペシャルドラマ「坂の上の雲」（司馬遼太郎氏原作）の主題歌「Stand Alone」や「ふるさとの四季」など名曲の数々をメドレー形式で演奏し、子供から大人までの幅広い年齢層の方々に楽しんでいただくことができた。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**第27回 野外活動センターまつり**				
開 催 時 期	10月28日	回数	1回	会場	芝生広場及び周辺
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			0人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,321,000円	312円			0円

【内容】
青少年団体や地元の協力を得て、センターの自然や施設・設備を生かした多種多様な野外活動の体験コーナーや各種イベント、模擬店、バザー等を実施する。

【結果】
今年のセンターまつりは、10月28日（日）に開催を予定していたが、西日本豪雨により12月19日まで施設の閉鎖が決定したため中止となった。

② 教室事業

市民のニーズに合わせて各種教室を開催し、市民が文化に出会い、参加する機会を提供する事業

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**赤ちゃんこえ浴教室**				
開 催 時 期	4月～7月、9月～12月、1月～3月	回数	36回	会場	こども館
延べ参加者数	1,256人	前年度延べ参加者数			1,052人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	480,000円	451,710円			441,600円

【内容】

0歳、1歳児とその母親、マタニティママを対象に、絵本の読み聞かせやふれあい遊び、紙芝居などを通して、豊かな情操を養う教室を開催する。

【結果】　募集定員（ 20組×2コース×3期）　応募者数（ 138組）　参加者数（ 257人）　延べ参加者数（1,256人）

赤ちゃんの感性を育むとともに、母親同士の交流の場や癒しの空間を提供し、子育て支援の一つとして行っている事業であり、参加者から好評を得ている。理由の一つとして、講師が自身の子育て経験を踏まえ、新米ママさんに寄添う内容となっていることが挙げられる。今後も内容や開催時間等、参加者に配慮しつつ、こども館で行う教室の基幹として事業を継続する。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**工　作　教　室**				
開 催 時 期	土・日・祝日・学校長期休暇	回数	153回	会場	こども館
参 加 者 数	3,508人	前年度参加者数			3,289人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,140,000円	1,033,339円			1,249,140円

【内容】

土曜日・日曜日・祝日及び小学校の長期休暇期間中に子どもを対象とした「こま」や「けん玉」などの伝統的なおもちゃをはじめ、様々な手作りおもちゃの作り方を指導する教室を開催する。

【結果】　参加者数（ 3,508人）

参加者数は、前年に比べて219人増加し、参加料収入も156,720円の増収であった。小学校の夏休み中など、長期休暇期間には毎日開催し、子ども達からも好評であった。物作りの楽しさを体感できる有意義な事業であり、今後は、幅広い年齢層に合わせた工作や季節ごとの工作、流行のメニューを加えるなど更に内容の充実を図る。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**わくわくサイエンス教室**				
開 催 時 期	通年	回数	5回×2期	会場	こども館
延べ参加者数	278人	前年度延べ参加者数			357人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	160,000円	185,713円			214,400円

【内容】

科学実験のおもしろさを世界の偉人の功績から学び、科学を身近に感じて興味をもってもらう教室を開催する。

【結果】　募集定員（ 30人×2期）　応募者数（ 72人 ）参加者数（ 68人）延べ参加者（278人）

学校の教科書には載っていない「アサリの解剖による体のしくみ」「考えるガリレオの振り子時計作り」「味噌を作って微生物を感じよう」をはじめ、高知県本川や新居浜市で行う「課外授業」など趣向を凝らした様々な体験ができることもあり、前・後期ともに定員を上回る応募があり実施した。今後も、より一層科学に興味を持ってもらえるように斬新な実験や工作を企画し、事業を継続する。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**ふれあい将棋大会**				
開 催 時 期	8月5日	回数	1回	会場	大会議室
参 加 者 数	158人	前年度参加者数			150人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	150,000円	150,000円			0円

【内容】

日本将棋連盟のトッププロを招聘し、市民がプロの指し手と直接対局し、また指導を受けることにより、将棋を通じて交流を図るとともに、将棋の普及振興を図ることを目的とする。

【結果】　募集定員（　－　人）　応募者数（ 158人）　参加者数（ 158人）

段位の近い方同士が、世代を越えて対局を楽しめる大会であり三世代交流の場となっている。事前応募型ではなく、当日受けのみとなるため参加人数が読めないという怖さはあるが、大会自体が定着しつつあるので今後も周知活動には力を入れていきたい。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**カルスポカレッジ**				
開 催 時 期	6月～11月	回数	12回	会場	大会議室
延べ参加者数	614人	前年度延べ参加者数			769人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	654,000円	445,920円			252,000円

【内容】

愛媛県内外から有識者を招き、市民の文化活動の要望に応えるため、歴史・生活・文芸・健康・芸術・体験談などをテーマとした文化講座を実施する。

【結果】　１部　募集定員（ 100人）　応募者数（74人）　参加者数（71人）
　　２部　募集定員（ 100人）　応募者数（58人）　参加者数（55人）

平成28年度に講座構成を2部構成、全16回から全12回に変更した影響もあり、参加者は1部・2部どちらも定員を下回ったが、1・2部合わせて126名の受講者があり、市民の学習意欲・ニーズの高さを再認識した。
（延べ参加者614人）

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**ゴスペル教室**				
開 催 時 期	5月～3月	回数	51回	会場	リハーサル室 外
延べ参加者数	2,156人	前年度延べ参加者数			2,683人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,350,000円	1,098,022円			1,235,000円

【内容】

参加者が大人数で楽しく大きな声で歌うことでストレスを発散し、歌が好きになることを目的に開催する教室（全8回）。5～7月・10～12月・1～3月の3期で、それぞれ午前コースと夜間コースを開催する。第1期・第2期の教室終了後には午前・夜間コース合同の発表会を開催するほか、第3期終了後は市民文化フェスタのオープニングで歌声を披露する。

【結果】　募集定員(各コース50人×3期)　応募者数(午前139人、夜間118人)　参加者数(午前130人、夜間117人)

この事業は、平成28年度から午前と夜間の2コースを年3回開催して3年目を迎えた。今年度の参加者数は、延べ2,156人となり、年間を通して多くの参加者を得ることができた。また、2コース合同発表会や市民文化フェスタへの出演など、練習の成果を披露する場を提供したことにより参加者の満足度を高めることができた。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**ペン習字教室**				
開 催 時 期	5月～11月	回数	16回	会場	第5会議室 外
延べ参加者数	270人	前年度延べ参加者数			229人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	250,000円	187,468円			195,000円

【内容】

日本ペン習字研究会師範による初心者を対象にしたペン習字教室（全8回）を2期開催する。文字を書くことが少なくなってきた昨今、文字を書くことへの苦手意識を克服し、自信をもって文字を書けるように導くことを目的とする。

【結果】　募集定員（ 40人） 応募者数（ 41人） 参加者数（ 39人）延べ参加者数（270人）

前年度から市民会館で開講しているペン習字教室は、前年度を上回る39人の参加があった。第1回目のひらがなの練習から始まり、第2回目以降は、参加者が事前に練習してきた文字を講師に丁寧に添削してもらいながら指導を受け、自宅などでゆっくり時間があるときに練習できる方法が好評であった。

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**カメラ教室**				
開 催 時 期	5月～6月	回数	5回	会場	第2会議室 外
延べ参加者数	63人	前年度延べ参加者数			初級編45人・ステップアップ編55人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	100,000円	62,660円			70,000円

【内容】

デジタルカメラを愛用する初心者を対象に、講師から様々な基礎知識や一歩進んだ撮影技術等を教えてもらうことで、カメラや写真に対する興味を深めていただくことを目的に開講する。

【結果】　募集定員（ 20人） 応募者数（ 14人） 参加者数（ 14人）延べ参加者数（63人）

前年度から市民会館で開講しているデジタルカメラ教室は、前年度を上回る14人に参加していただいた。これまでオートモードでしか撮影したことのなかった参加者が、撮りたい写真をイメージしながら状況に応じてマニュアルモードに切り替えて写真が撮れることに喜びを感じているようであった。最近手軽に扱えるデジタルカメラが女性を中心に広まっており、参加者自身の理解度を確認しながら実践できる教室が好評であった。

施　設　名	松山市民会館				
事　業　名	**【新規事業】フラダンス教室**				
開 催 時 期	10月～11月	回数	6回	会場	リハーサル室
延べ参加者数	36人	前年度延べ参加者数			―
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	125,000円	61,056円			42,000円

【内容】

子育て中の主婦層に心身共にリフレッシュして自分の時間を持てるようになってもらい文化活動の振興と、施設の活性化に努めることを目的とする。

【結果】　募集定員（ 20人） 応募者数（ 8人） 参加者数（ 7人）延べ参加者数（36人）

この事業は、これまで子育て中の主婦層も気軽に参加できるように、子ども同伴でフラダンスを楽しんでもらうために開催したものである。その結果、７組の親子が「安心して受講でき楽しかった」と好評を頂いた。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**森の陶芸教室**				
開 催 時 期	7月～8月、11月～12月（中止）	回数	3回を1セット×1回	会場	野外教室B・五明古民家
参 加 者 数	27人	前年度参加者数			69人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	186,000円	47,103円			18,000円

【内容】

地元の陶芸・美術家を講師に迎え、全３回コースでお皿やコップ等を制作し、完成後には作品を使って料理や飲み物を楽しんでいただいた。

【結果】　募集定員（ 20人×1コース）　応募者数（ 13人）　参加者数（ 27人）

定員各回20人に対して、１回目9人、２回目は西日本豪雨による施設閉鎖のため中止となった。１回目は、五明古民家を使用することで事業の継続が可能となったが、応募者・参加者とも定員より人数が少なかったため、次年度は、ホームページをより魅力ある内容とし、他の施設にチラシを配布する等の方策により、参加者増を目指したい。講師の丁寧な指導により、参加者が満足のいく陶芸作品を制作することができ、付加価値の高い事業である。そのため土砂崩れにより使用できなくなった野外教室とレストハウスの陶芸窯が使用できるようになるまで、講師と相談し、五明古民家での実施を検討したい。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**【新規事業】エンジョイホリデーイベント「春の大収穫祭」**				
開 催 時 期	7月14日	回数	1回	会場	Bロッジ横 畑
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			―
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	70,000円	10,536円			0円

【内容】

じゃがいも掘りを通して作物の育成と収穫を体験し、自然の営みに触れていただくことにより、野外活動の楽しさを体験する場を提供する。

【結果】

7月14日（日）に開催を予定していたが、西日本豪雨により12月19日まで施設の閉鎖が決定したため中止となった。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「秋の大収穫祭」**				
開 催 時 期	12月1日	回数	1回	会場	Bロッジ横 畑
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			47人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	70,000円	16,591円			0円

【内容】

さつまいも掘りを通して作物の育成と収穫を体験し、自然の営みに触れていただくことにより、野外活動の楽しさを体験する場を提供する。

【結果】

12月1日（日）に開催を予定していたが、西日本豪雨により12月19日まで施設の閉鎖が決定したため中止となった。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「ホタル観察」**				
開 催 時 期	6月8日	回数	1回	会場	林間教室及び親水広場
参 加 者 数	36人	前年度参加者数			48人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	3,000円	1,599円			0円

【内容】

センター親水広場に生息するホタルを観察することにより、自然に親しみながら情緒風情を楽しみながら、生態や生息環境等を学ぶ機会を提供した。

【結果】　募集定員（ 50人） 応募者数（ 40人） 参加者数（ 36人）

応募者は12組40名、参加者は11組36名であった。募集定員を50名程度に設定していたので、少々少ない参加人数となった。野外活動センターの豊かな自然に親しんでもらう事業で、他の施設にはない事業である。この事業への参加が当センターを訪れるきっかけになることから、パイオニアキャンプ場の利用が再開することになれば、今後も内容を充実させて実施する。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「お月見会」**				
開 催 時 期	9月22日	回数	1回	会場	レストハウス
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			77人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	14,000円	768円			0円

【内容】

周りに夜間照明が少なく、晴天時は星を数多く見ることができる野外活動センターの特性を活かし、「月見団子作りと団子を食しながら、中秋の名月を観望する」という情緒風情ある事業を実施する。

【結果】

9月22日（土）に開催を予定していたが、西日本豪雨により12月19日まで施設の閉鎖が決定したため中止となった。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「ミニ門松作り」**				
開 催 時 期	12月15日	回数	1回	会場	レストハウス及びクラフト教室
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			47人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	17,000円	1,026円			0円

【内容】

センターで採れた竹や松、梅などを使って、お正月用のミニ門松を作る季節感を取り入れた野外活動センターならではの事業を実施する。

【結果】

12月15日（土）に開催を予定していたが、西日本豪雨により12月19日まで施設の閉鎖が決定したため中止となった。

＜② 教室事業＞

施　設　名	その他の施設				
事　業　名	**松山大学・カルスポ公開講座**				
開 催 時 期	10月3日（水）～12月19日（水）	回数	12回	会場	松山大学樋又キャンパス
延べ参加者数	1,548人	前年度延べ参加者数			1,052人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	801,000円	800,400円			258,000円

【内容】

市民に多くの学習機会を提供するため、松山大学と連携し、大学教授をはじめ多彩な講師陣による一般教養講座を開催する。

【結果】　募集定員（ 150人） 応募者数（ 136人） 参加者数（ 129人）延べ参加者数（1,548人）

前年を上回る129人の参加者があった。一般教養講座のテーマを「地域ビジネスの展開と日本経済の行方」として、県内で活躍されている経営者や経済関係の方々を講師として招き、地域経済の活性化や、多様な働き方について講義を行った。

施　設　名	その他の施設				
事　業　名	**松山シルバーコーラス事業**				
開 催 時 期	6月～3月	回数	75回	会場	中央公民館
延べ参加者数	9,039人	前年度延べ参加者数			9,697人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	1,710,000円	1,491,880円			1,467,000円

【内容】

地元声楽家の指導により、60歳以上の高齢者に対しコーラスグループの活動と練習成果の発表の場を提供する。定員：1クラス200人　全3クラス

【結果】　募集定員（ 600人） 応募者数（ 497人） 参加者数（ 488人）延べ参加者数（9,039人）

松山シルバーコーラス事業は、平成元年から続いている事業で、今年度で30年の節目を迎えた。今年もリピーターの参加者が多く、488名の参加者が集まった。
練習成果の発表の場として、平成31年3月13日(水)に参加者たちの自主運営により、3コース合同での発表会が松山市民会館中ホールで開催された。

③ 体験事業

主に長期休み期間や週末に児童や親子を対象として、手作り体験や実地体験などを通して様々な種類の文化に共感し、また文化への関心を高めるための機会を提供する事業

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	**星空観望会**				
開催時期	随時	回数	6回	会場	こども館
参加者数	324人	前年度参加者数			283人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	100,000円	50,650円			40,800円

【内容】

こども館の屋外で、解説を交えながら惑星や星座等を天体望遠鏡を使って観察することにより、天文や宇宙への興味を高めてもらう機会の提供を図る。

【結果】 募集定員（ 500 人） 応募者数（ 324人） 参加者数（324人）

年間10回の開催を予定していたが、天候不良による中止が多く、予備日も設け13回の開催を図ったが6回（前年度は9回）の開催となった。無料の観望会（1/6 日食観望会120人）を開催することにより参加者は増加した。本事業は、参加者から好評を得ていることから、今後も珍しい天文現象を始め、馴染みの深い惑星や星なども楽しく観望する機会を提供し、市民の天文への興味を高めていきたい。

施設名	松山市民会館				
事業名	**伝統文化こども伝承事業「小学生おけいこ きょうしつ」**				
開催時期	7月23日～8月27日	回数	30回	会場	小ホール 外
延べ参加者数	604人	前年度延べ参加者数			711人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	895,000円	656,420円			438,000円

【内容】

日本の伝統文化の活性化を図り、次世代後継者の発掘・育成を目的として松山市内及び近郊の小学生を対象にした体験教室を開催する。小学生に伝統文化に触れる機会を提供することで文化振興を図る。
※教室…狂言・将棋・礼儀作法・お琴・三味線・落語の6分野

【結果】 募集定員（ 150人 ） 応募者数（ 170人 ） 参加者数（ 146人 ）

小学生おけいこ教室は、昨年度に比べ参加者数は3人少なかったが、応募者は定員に対し20名多く、興味を持っている小学生が多いことがわかった。この教室は、3年または5年をめどに種目を入れ替えており、話題性や時代のニーズに合った教室を実施することによって、日本の伝統文化をより身近に感じていいただくことが必要と感じた。

施設名	松山市総合コミュニティセンター				
事業名	**キッズジョブまつやま2018**				
開催時期	12月16日	回数	1回	会場	全館(一部除く)
参加者数	4,619人	前年度参加者数			5,001人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,000,000円	999,910円			0円

【内容】

松山市内の小中学生に仕事の意義・仕組み・やり方を体験させることにより、働くことの楽しみや厳しさを学び、関心のある職業への理解を深め、どんな人生を歩みたいかを考えるきっかけになることを目的とする。

【結果】 募集定員（ 1,654人） 応募者数（ 3,630人） 参加者数（ 4,619人）

松山市PTA連合会との共催事業として5年目を迎え、事業に対する認知度は右肩上がりである。その裏付は、応募者が昨年より800人程度増加していることからも明らかである。しかしながら、昨年度の時点で受け入れ人数がほぼ飽和状態であったことや出展業者の入れ替わりによる受け入れ人数の減少などの理由により参加者数は前年を下回る結果となった。

＜③ 体験事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**わがまち工房事業**				
開 催 時 期	8月8日	回数	1回	会場	こども館
参 加 者 数	1,981人	前年度参加者数			3,300人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,010,000円	577,965円			0円

【内容】

平成28年度に松山市の「笑顔のまつやま　わがまち工房」の提言を受け、工房メンバーも参画した「こども館クラブ」が主体となり、子どもから大人まで楽しめるイベント等を開催することで、市民との協働による継続したこども館の活性化を図る。

【結果】　募集定員（ ― ）　応募者数（ ― ）　参加者数（1,981人）

今年度は「こども館クラブ」が主体となり、イベントを実施した。まつやまこどもの日に開催したイベントは、「〇っと まるごと ちゃれんじこども館」と題し、8団体の協力を得て「みんなでゆめの木を育てよう」「こども館プレパーク」「かおるジェル&バスボムづくり」等、様々なブースが開設され、1,981人の参加があった。また、Toi Toi Toiと中央図書館とこども館のコラボ企画「春休み読み聞かせＤＡＹ」を行い、120人の参加があった。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**こども館イベント（あそぼうデー）**				
開 催 時 期	通年	回数	7回	会場	こども館
参 加 者 数	1,266人	前年度参加者数			638人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	100,000円	62,687円			77,950円

【内容】

親子で様々な手作りの工作を行い、作品を使って楽しく遊んでもらい、親子でふれあえる場の提供を図る。

【結果】　参加者数（ 633人）

自分たちで作った工作品を使って実際に遊べるという内容が好評であった。今年度は、実施内容を見直し新たに缶バッジ作りを企画し、実施回数を増やしたことで、参加者数は前年を上回った。今後も、親子でふれあえる貴重な場として、楽しめる内容の工作を立案し、更なる参加者の増加を図る。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**こども館イベント（季節イベント）**				
開 催 時 期	随時	回数	9回	会場	こども館
延べ参加者数	1,978人	前年度延べ参加者数			2,058人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	120,000円	98,455円			104,000円

【内容】

季節工作（季節に合わせた物つくりを開催）

4月　ミニこいのぼり作り　　5月・6月　母・父の日のプレゼントをつくろう等
8月　缶バッチを作ろう　　9月　ミニティッシュケースを作ろう
11月　松ぼっくりツリー　　12月　しめなわ作り
2月　ひな飾りをつくろう　　3月　缶バッチを作ろう

【結果】　参加者数（ 1,978人）

季節に合わせた ものづくりや昔の遊びを通して、子どもたちが「作る喜び」、「文化にふれる楽しさ」を感じてもらえた。今後も、より充実した事業を企画し、積極的な事業の展開を図る。なお、参加者数は、同伴の保護者や兄弟を含む延べ人数である。

＜③ 体験事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**こども館イベント（夏季講座）**				
開 催 時 期	7月23日	回数	1回	会場	こども館
参 加 者 数	29人	前年度参加者数			31人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	45,000円	34,089円			37,700円

【内容】

松山市内小学校4年生から6年生迄を対象にこども館内での工作や科学実験を行い、科学への関心を高める。

【結果】　募集定員（30人）　参加者数（ 29人）

小学4・5・6年生を対象に夏休みに科学に興味を持ってもらう事業として、今年度は、手作り天体望遠鏡作成と星の観察方法の解説を行った。今後もさらに関心を得られるように、企画の立案と内容の充実を図る。

なお、定員に対しバイの応募があったことから、内容、実施回数の増等検討を行う。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**こども館イベント（おもちゃ病院）**				
開 催 時 期	5月6日、8月5日、12月9日	回数	3回	会場	こども館
参 加 者 数	120人	前年度参加者数			148人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	18,000円	15,600円			0円

【内容】

壊れているおもちゃを、おもちゃドクターが治療（修理）する「おもちゃ病院」を年3回「開業」した。自分の大事なおもちゃが治療されていく過程を見学させ、物を大切に扱うことを学ばせる事業である。おもちゃドクターは、「木工技師」、「歯科技工士」、「電気工事技師」など様々な有資格者に委任している。

【結果】　参加者数（ 120人）

毎回好評を頂いているイベントであり、今年度も多くの「患者」が来場した。目の前で壊れた大切なおもちゃが修理された事に対する喜びとともに、子どもたちの好奇心を満たすことができた。今後も円滑な運営を展開し、更なる充実を図る。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**タケノコ掘りまつり**				
開 催 時 期	4月15日、22日、28日、5月3日	回数	4回	会場	タケノコ山　外
参 加 者 数	824人	前年度参加者数			583人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	212,000円	136,766円			357,000円

【内容】

センター内の竹林でタケノコ掘りを体験し、タケノコ料理を味わっていただくことで参加者の交流・親睦を深め、自然に親しむきっかけとする事業として実施した。

【結果】　募集定員（ 200人×4回）　応募者数（ 967人）　参加者数（ 824人）

参加者は前年度に比べ824人（前年度583人）と大幅に増加した。これは、昨年は裏年で初回のタケノコ掘りが中止になったことや、今年は表年で4回実施のすべてで天候に恵まれたことが影響している。参加者間でタケノコを掘る方法やおいしいタケノコの見分け方等を教え合う風景があったことからも、この事業はリピーターが多く、毎年楽しみにしている市民の方が大勢いることが伺える。また、五明地区まちづくり協議会と連携することで地域の交流につながる有意義な事業と捉えている。

＜③ 体験事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**森のやすらぎ親子アート**				
開 催 時 期	5月27日、1月27日	回数	2回	会場	野外ステージ、研修室
延べ参加者数	53人	前年度延べ参加者数			114人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	137,000円	81,658円			26,500円

【内容】

野外活動センターの魅力ある自然環境を活かし、固定概念に捉われない自由な発想によるアートを親子で体験する場を提供した。

【結果】 募集定員（ 15組30人×3回） 応募者数（ 1回目14組33人、2回目14組28人）
参加者数（ 1回目12組28人、2回目9組25人）

今年度３回実施の予定であったが豪雨災害の影響で2回の実施となった。休所中は、事業についてお問い合わせの電話をいただく等このイベントを心待ちにしていた方が多かった。3回実施した前年度より総数は減ったが、応募者は2回とも定員を上回っていた。当日風邪等によりキャンセルが相次ぎ、実際の参加者は定員を下回ったことから、それを見越して定員より多めに参加者を当選させる共に、早い段階でキャンセルが発生した時は、抽選で漏れた人に連絡を取り、参加を促す等の方策が必要であると思われる。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**【新規事業】エンジョイホリデーイベント「ふたご座流星群観望会inレインボー」**				
開 催 時 期	12月14日	回数	1回	会場	野外ステージ、研修室
延べ参加者数	中止	前年度延べ参加者数			―
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	3,000円	171円			0円

【内容】

夜間を利用し、野外活動センターの立地を生かした市街地では体験できない天体の観察を行う。

【結果】

12月14日（日）に開催を予定していたが、西日本豪雨により12月19日まで施設の閉鎖が決定したため中止となった。

④ 展示事業

市民が実施している文化活動の成果を、多くの人たちに展覧することによって、文化への共感を広げ、出会い、伝える機会を提供する。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**カルスポロビー展**				
開 催 時 期	通年	回数	―	会場	コミュニティプラザ
参 加 者 数	―	前年度参加者数			―
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	―	―			―

【内容】

様々な文化活動の成果物をコミュニティプラザのオープンスペースに展示し、来館者に楽しんでいただくとともに財団事業のＰＲを行うものである。

【結果】

財団が行う各施設の事業案内や活動状況がわかるパンフレットや写真等を展示し、訪れた市民に文化活動の楽しさを伝え、事業のＰＲを行った。

また、考古館のエントランスで展示している「古代ハス」の開花状況を写真で紹介し、来館者に楽しんでいただくとともに管理施設の来館者数向上を図った。

⑤ 情報提供事業 （他事業と共通）

財団が実施する事業内容や参加者の声などを紹介し、文化活動の魅力を広く紹介する事業を実施する。

市民の文化やスポーツへの関心を高めるとともに、財団事業のPR、利用者への利便性向上のために、財団の主催事業や各施設でのイベントを紹介する「きゃめりあ」を発行した。また、ホームページによる施設情報や文化・スポーツ情報の提供を行うほか、様々なメディアを活用し情報の発信に努めた。

内　　容	実施時期	配布数	決算額
施設情報誌「きゃめりあ」発行	月 1 回	19,200枚	77,598円
ホームページによる施設、事業案内	随　時	―	―

⑥ 拠点施設運営事業

市民が日ごろの文化活動の成果をより多くの人たちに発表することによって、文化への共感を広げ、出会い、伝える機会を提供する事業

松山市総合コミュニティセンター

＜1＞施設の貸与事業

キャメリアホール

より多くの市民が文化活動の発表を行なうとともに文化活動に参加できるよう、舞台技術者からの適切な助言・技術サービスや気軽に安心して利用できる場の提供を行なうことにより、文化拠点としての施設運営に努めた。

リハーサル室、練習室１、２、３、こども館

文化活動発表の練習を行うために、気軽に利用できる場の提供を行うことにより、文化拠点としての施設運営に努めた。

松山市民会館

＜1＞施設の貸与事業

大ホール、中ホール、小ホール

より多くの市民が文化活動の発表を行なうとともに文化活動に参加できるよう、舞台技術者からの適切な助言・技術サービスや気軽に安心して利用できる場の提供を行なうことにより、文化拠点としての施設運営に努めた。

リハーサル室、練習室１、２

文化活動発表の練習を行うために、気軽に利用できる場の提供を行うことにより、文化拠点としての施設運営に努めた。

公益目的事業２

（１）スポーツ振興に関する事業の企画、実施、調査研究及び普及啓発に関すること
（定款第4条第1項第2号事業）

（２）松山市から受託する文化・スポーツ拠点施設等の管理運営
（定款第4条第1項第4号事業）

①　大会事業

市民が、出会い、参加することができるよう様々な競技を取り上げた大会を開催し、スポーツへの関心を一層高める機会を提供する事業

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	**第9回市民スポーツフェスタ**				
開 催 時 期	12月24日	回数	1回	会場	陸上競技場・体育館
入 場 者 数	800人	前年度入場者数			3,000人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	2,481,000円	2,046,706円			100,000円

【内容】
2012年ロンドンオリンピック女子4×100ｍリレー代表の市川華菜選手、2016年リオデジャネイロオリンピック男子400ｍハードル代表の松下祐樹選手、2009年世界陸上ベルリン大会女子4×100ｍリレー代表の和田麻希選手をゲストに迎え、陸上クリニックや小学生かけっこ教室などを実施し、地元の陸上選手たちが、世界トップレベルの技術を持つオリンピアンから直接指導を受けることでスポーツの振興を図る。

【結果】　募集定員（　―　）　応募者数（ 800人）　参加者数（ 800人）
ゲスト選手と参加者が400ｍトラックを1周走るオープニングラン、中学生から大学生までの250名が参加した陸上クリニック、小学生100名が参加したかけっこ教室、フェスタオリジナル種目のミニ運動会、陸上競技の魅力や日頃の練習内容、東京オリンピックに向けての抱負等について語ってもらったトークショー、サイン入りグッズ等が当たるお楽しみ抽選会などを実施し、会場は大いに盛り上がった。地元の陸上選手たちが、オリンピアンと間近で触れ合える貴重なスポーツイベントとなった。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**坊っちゃんカップ・第12回道後温泉卓球大会**				
開 催 時 期	2月18日～2月20日	回数	1回	会場	体育館メインアリーナ・サブアリーナ
延べ参加者数	1,195人	前年度延べ参加者数			1,234人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,930,000円	2,271,063円			2,201,000円

【内容】
近年、中高齢者を中心に普及しているラージボール卓球の全国大会で、松山市立子規記念博物館で前夜祭を開催するなど、スポーツの振興及び道後地区の観光振興を図るスポーツツーリズムである。スポーツを通じて松山の魅力を全国に発信する。

【結果】　募集定員（　―　）　応募者数（ 515人）　参加者数（ 515人）
第12回大会には、全国28都道府県から109チーム515人の参加があり、このうち県外からの参加は387人（参加者の約75%）であった。シングルス・ダブルス競技をあわせた総エントリー数は、1,195人(シングル327人、ダブルス434組×2人)であった。参加者の中にはリピーターも多く、80歳以上も過去最高の35名となった。引き続き、高齢者が安心して楽しめる大会運営に努める。
なお、道後温泉本館保存修理工事に伴い、初の試みとなった道後温泉別館飛鳥乃湯泉入浴サービスも181名の利用があり、松山市の新たな魅力を広く全国にアピールでき、道後を始めとする松山エリアの観光活性化を図ることができた。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**【新規事業】ＣＵＬＳＰＯ ３×３ＣＵＰ**				
開 催 時 期	8月5日	回数	1回	会場	体育館メインアリーナ
参 加 者 数	125人	前年度参加者数			―
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	150,000円	232,490円			136,000円

【内容】
2020年東京オリンピックの正式種目となったスリーバイスリー大会を開催することで、競技の普及とスポーツの振興を図る。

【結果】　募集定員（ 120人）　応募者数（ 130人）　参加者数（ 125人）
男子20チーム、女子3チーム、U12男子4チームによるカテゴリー別のスリーバイスリー大会、スリーポイントシュート大会、愛媛オレンジバイキングス所属選手によるクリニックを実施した。
この事業は単なるバスケットボール大会ではなく、スポーツDJによる音響や効果音によって試合を演出し、スポーツと音楽を融合させたイベント性の高い事業となった。

＜① 大会事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター　外				
事　業　名	**3施設合同カルスポキッズスポーツフェスタ**				
開 催 時 期	8月20日・9月8日・2月16日	回数	3回	会場	松山市総合コミュニティセンター 中央公園・北条スポーツセンター
参 加 者 数	446人	前年度参加者数			250人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	600,000円	569,918円			388,000円

【内容】

子供とスポーツの出会いを創出し、将来のスポーツ人口増加を図ることを目的に様々な競技を体験することができるイベントを実施する。

【結果】　募集定員（ 600人）　応募者数（ 569人）　参加者数（ 446人）

子供たちに様々なスポーツを体験してもらうこのイベントでは、えひめ国体競技会場でもあった施設環境を最大限に活用できる競技を体験してもらい、スポーツへの関心を深めることができた。

松山市総合コミュニティセンターでは「体操」「バドミントン」「ハンドボール」「バスケットボール」、中央公園では「野球」「テニス」「サッカー」、北条スポーツセンターでは「かけっこ」「バスケットボール」「バドミントン」を実施、「リングストレッチ」「ピラティス」の保護者対象のエクササイズ体験も同時に実施した。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**空育®JAL折り紙ヒコーキ教室**				
開 催 時 期	11月24日	回数	1回	会場	体育館メインアリーナ
参加者数	107人	前年度参加者数			130人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	100,000円	39,204円			21,400円

【内容】

近年小学生の体力低下が著しい昨今、また松山市においてはスポーツテストでのボール投げが全国平均を下回っている状況下、昔ながらの遊び「紙ヒコーキ」を通じ、全身運動することで基礎体力向上を図る。

【結果】　募集定員（ 160人）　応募人数（ 126人）　参加者数（ 107人）

小学生を対象とした折り紙ヒコーキ教室と、滞空時間を競う記録会を実施した。教室の指導は滞空時間29秒2のギネス記録を樹立した折り紙ヒコーキ協会会長の戸田拓夫氏の設立した折り紙ヒコーキ協会認定のJAL折り紙ヒコーキ認定指導者と、財団職員及び愛媛大学社会共創学部インターンシップ学生が行った。

8グループに分かれた受講者は、JAL折り紙ヒコーキ認定指導者からの説明と、財団職員及び愛媛大学社会共創学部インターンシップ学生からのアドバイスを受け「イカヒコーキ」と「ヘそヒコーキ」を作成した。また、財団職員の健康運動指導士による投げ方教室を行い、腕の振り方、折り紙を離すタイミングなど、折った紙ヒコーキをよく飛ぶような体の使い方の指導を行い、記録会では参加者全員で自分が折った紙ヒコーキを投げて滞空時間を測定した。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター外				
事　業　名	**【新規事業】キッズチャレンジ**				
開 催 時 期	6月・8月・10月・12月	回数	8回	会場	ニンジニアスタジアム・城山公園・松山市総合コミュニティセンター（体育館サブアリーナ）
延べ参加者数	163人	前年度延べ入場者数			―
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	60,000円	75,096円			70,000円

【内容】

大会に参加することで「スポーツを始めるきっかけ作り」「挑戦することの大切さ」「かけがえのない貴重な体験」を子供たちに提供し、スポーツを通じて健康で元気な笑顔ある子供たちを育て、子供たちの夢や成長を応援する。

【結果】　募集定員（ 65人）　応募者数（ 66人）　参加者数（ 63人）延べ参加者数（163人）

定期的（年4期全30回）に中央公園で実施したキッズジョギング教室や、日本陸上競技連盟強化委員会強化育成部を招き、松山市総合コミュニティセンター体育館で実施した陸上競技教室（全5回）参加者から大会参加メンバーを募り、財団チーム（カルスポキッズチーム）として、えひめ5時間リレーマラソン、マツヤマお城下リレーマラソン、坊っちゃんランランランの3大会に出場した。今後も様々な大会にチャレンジし、子供たちのスポーツへの関心を高めていきたい。

＜① 大会事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	レインボーハイランドカップ第5戦 しまなみランニングバイク選手権2019				
開 催 時 期	2月24日	回数	1回	会場	芝生広場
参 加 者 数	800人(保護者等を含む。)	前年度参加者数			800人(保護者等を含む。)
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,111,000円	1,041,963円			380,000円

【内容】

子供たちの心身の育成を図り、また、野外活動センター閑散期の活性化を目的として、幼児（2歳～5歳）を対象に、ペダルのない自転車で地面を蹴って進む競技で自転車に乗るための平衡感覚を身に着けつけながら楽しむ大会を開催した。

【結果】　募集定員（ 150人） 応募者数（200人） 参加者数（ 190人）

今年度は、競技エントリー190人（前年度185人 前々年度203人）と前年度に比べ若干増加した。毎年出場している参加者も多く人気の大会であり、競技出場者の約3割程度が市外県外からの参加であった。瀬戸内海をイメージしたコースで白熱したレースが繰り広げられ、観覧の保護者の声援に会場内は大きな盛り上がりであった。また、今年度から五明地区まちづくり協議会・公民館との連携によりバザーを実施し、好評を得た。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	Take Koppori World Championships 2018				
開 催 時 期	12月9日	回数	1回	会場	芝生広場
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			26人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	220,000円	1,547円			0円

【内容】

野外活動センターでの活動プログラムの充実を図る中で「竹林」に着目し、大人も子どもも本気で楽しめる「竹こっぽり」を体験型プログラムとして競技化することにより、その認知度を高め、センター閑散期の恒例行事とする。

【結果】

12月9日（日）に開催を予定していたが、西日本豪雨により12月19日まで施設の閉鎖が決定したため中止となった。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	ソフトバレーボール大会				
開 催 時 期	6月17日	回数	1回	会場	体育館
参 加 者 数	10チーム（68人）	前年度参加者数			10チーム(66人)
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	75,000円	40,926円			53,200円

【内容】

6人制ソフトバレーボールの総当たり戦を行ない、上位3チームを表彰した。

【結果】　募集定員（ 80人） 応募者数（ 68人） 参加者数（ 68人）

10チームの参加があり、参加料20,000円（1チーム2,000円）、バザー売上33,200円の計53,200円であった。
参加10チーム中9チームが日頃から当センターの体育館を利用しているチームで、1チームが新規での参加であった。新規参加が1チームと少数ではあったが、大会参加に満足していただき施設の利用促進に繋げた。

＜① 大会事業＞

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	アクティブ・チャイルド・プログラムin北条				
開 催 時 期	11月24日	回数	1回	会場	陸上競技場
延べ参加者数	200人	前年度延べ入場者数			112人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	555,000円	344,291円			41,000円

【内容】
公益財団法人日本スポーツ協会が開発したアクティブ・チャイルド・プログラムを子供たちに体験してもらい、運動能力及び体力向上を図る。

【結果】　募集定員（ 150人） 応募者数（ 85人） 参加者数（ 82人）延べ参加者数（200人）
今年度で3回目となる本事業のメイン指導者には、アクティブ・チャイルド・プログラム制作ワーキンググループメンバーの青野博氏と吉田繁敬氏を招聘し、サポート指導を愛媛大学教育学部の田中雅人教授と同大学学生に依頼した。
今回は小学生を対象に「ねずみ逃がし」「しっぽとり」「ひよこの闘い」「魚とり」「スリーチーム綱引き」など子供たちが楽しみながら体を動かす様々なプログラムを実施した。今後も日本スポーツ協会や愛媛大学と連携し、キッズスポーツの振興を図っていきたい。

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	【新規事業】第1回スポーツ・レクリエーションフェスティバルin風早				
開 催 時 期	11月3日	回数	1回	会場	陸上競技場・フットサル場・体育館
延べ参加者数	565人	前年度延べ入場者数			―
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	470,000円	350,360円			0円

【内容】
松山市北部地域のスポーツ拠点施設でもある北条スポーツセンターで、共に北条地区に拠点を置く聖カタリナ大学との連携を基に、広くスポーツ・レクリエーションの実践を図り、だれでも、どこでも、気軽に楽めるスポーツを通じて、市民の交流をさらに深める。

【結果】　募集定員（ ― ） 応募者数（ ― ） 参加者数（ 565人）
グラウンド・ゴルフ及びペタンク大会には、松山市第8ブロック7公民館の協力により、各地区から地域住民165名が参加。フィットネス体験は参加条件を親子可としたことで体を動かす機会が少ない親子連れや当センターフィットネス教室受講者など170名が参加し、来年度も参加したいなど、好意的な声が多かった。
各種体力測定は聖カタリナ大学監修のもと実施。特にロコモティブシンドロームを数値化できる「ロコモスキャン」を使用した測定には80名が参加、下肢筋力や体組成計測定によるデータを基に、健康スポーツ学科松波教授による参加者個々の現在の運動機能の状態、必要な運動処方をアドバイス。また、保育学科生によるレク式体力チェックやミニ迷路には150名の家族参加などでにぎわった。

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	第8回タグラグビーチャレンジin風早				
開 催 時 期	6月9日	回数	1回	会場	球技場・体育館
延べ参加者数	600人	前年度延べ参加者数			600人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	170,000円	169,717円			0円

【内容】

ラグビー競技への取り組みが盛んな北条地区において、ラグビーの基礎となるタグラグビーの交流戦、初心者体験セミナーを行い、市民にスポーツの楽しさを味わってもらい、スポーツの振興に繋げる。

【結果】　募集定員（ ― 人） 応募人数（ ― 人） 参加者数（ 600人）

過去最多となる49チームが参加した交流戦や、初心者対象の体験セミナーを実施し、子供たちのスポーツへの関心を高め、タグラグビーの普及啓蒙に繋がるイベントとなった。今後も関係団体との連携を深め、北条地区の活性化はもとより、更なるスポーツの振興を図っていきたい。
平成26年度以降、障がい者と健常者の合同チームの参加があり、共に楽しめる事業として継続を図る。

② 教室事業

（ア　成人対象）　技術の向上、レクリエーションとしての楽しみ、人との共感など、多様な目的や幅広い年齢層に対応する様々な教室を地域ニーズに合わせて提供し、スポーツをツールに市民が健康への関心など生涯スポーツへの意識を高めていくための事業

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**水泳教室**				
開 催 時 期	4～7・9～12・1～3月	実施総回数	210回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	2,391人	前年度延べ参加者数			1,944人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	759,000円	512,171円			461,400円

【内容】

水泳の指導を行うことで成人の健康づくりに寄与する。また、水泳人口の増加を図り松山市のスポーツ活性化につなげる。

【結果】　募集定員（ 270人）　応募者数（ 279人）　延べ参加者数（ 2,391人）

募集定員を超える応募があった。応募者の多くはリピーターである。なお、新規参加者は30人であり、館内のポスター掲示、チラシの配布、広報まつやま等の広告を見ての応募であった。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**夜間水泳教室**				
開 催 時 期	４～６・７～９・１０～１２・１～３月	実施総回数	168回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	1,746人	前年度延べ参加者数			1,639人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	541,000円	399,546円			398,700円

【内容】

水泳の指導を行うことで成人の健康づくりに寄与する。また、水泳人口の増加を図り松山市のスポーツ活性化につなげる。

【結果】　募集定員（ 240人）　応募者数（ 274人）　延べ参加者数（ 1,746人）

募集定員を超える応募があった。リピーターの応募が多い中で、告知のポスター、チラシに目標を掲げたことで、それを見たので申し込んだとの声を多く聞くことができた。
※目標：「25m泳げるようになりましょう」「100m泳げるようになりましょう」

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**水中ウォーキング教室**				
開 催 時 期	4～7・9～12・1～3月	実施総回数	99回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	1,589人	前年度延べ参加者数			1,564人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	426,000円	360,499円			309,900円

【内容】

中高年に関節や筋肉のコンディションを向上させる水中運動を指導することで、関節障害の予防・改善を行い、高齢化社会における医療費削減を図る。

【結果】　募集定員（ 180人）　応募者数（ 192人）　延べ参加者数（ 1,589人）

ほぼ高齢者の参加である。出席率80％を超え、参加者はこの教室以外の他の日にもプールを利用する人が多い。使用料収入の増加と、運動習慣の定着を図ることができた。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**アクアエアロビクス教室**				
開 催 時 期	4～7・9～12・1～3月	実施総回数	68回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	668人	前年度延べ参加者数			629人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	435,000円	372,228円			207,250円

【内容】

水中でのエアロビクスを通じて市民の健康増進を図る。

【結果】　募集定員（ 120人）　応募者数（ 79人）　延べ参加者数（ 668人）

高齢者中心で40代、50代の参加者もいる事業であるが募集定員に達していない。要因として、この水中エアロビクスに上達という要素が少ないことが挙げられる。参加者のモチベーションを上げる工夫により参加者増加に繋げていく。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**夜間アクアエアロビクス教室**				
開 催 時 期	4～6・7～9・10～12・1～3月	実施総回数	42回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	408人	前年度延べ参加者数			539人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	253,000円	230,198円			150,000円

【内容】

水中でのエアロビクスを通じて市民の健康増進を図る。

【結果】　募集定員（ 80人）　応募者数（ 65人）　延べ参加者数（ 408人）

昼間の教室よりも40代、50代の参加者が多い事業であるが募集定員に達していない。要因として、この水中エアロビクスに上達という要素が少ないことが挙げられる。参加者のモチベーションを上げる工夫により参加者増加に繋げていく。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**フィットネス教室**				
開 催 時 期	4～6・7～9・10～12・1～3月	実施総回数	586回	会場	体育館（会議室）
延べ参加者数	10,075人	前年度延べ参加者数			8,656人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	4,482,000円	3,535,088円			3,870,300円

【内容】

中高年に関節や筋肉のコンディションを向上させるエクササイズを指導することで、関節障害の予防・改善を行い、高齢化社会における医療費削減を図る。

【結果】　募集定員（ 1,180人）　応募者数（ 1,469人）　延べ参加者数（ 10,075人）

バランスボール、ヨガ、ピラティス等抽選が必要な教室が多い。軌道に乗っている事業である。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**卓 球 教 室**				
開 催 時 期	4～7・9～12・1～3月	実施総回数	236回	会場	体育館（主・補助競技場）
延べ参加者数	3,114人	前年度延べ参加者数			3,331人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	1,785,000円	964,266円			1,504,800円

【内容】

卓球の指導を行うことで成人の健康づくりを推進する。また、卓球人口の増加を図り松山市のスポーツ活性化につなげる。

【結果】　募集定員（ 480人）　応募者数（ 414人）　延べ参加者数（ 3,114人）

応募者の多くは、リピーターであり、人気が根強い教室である。実施の時間帯や他の利用者の妨げにならによう留意し、参加者募集のポスター、チラシに「卓球は少人数で行え、上達が早い」ことを謳うなどアピールし、少しでも多くの新規参加者につなげる。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**バドミントン教室**				
開 催 時 期	6～7・1～2月	実施総回数	18回	会場	体育館（補助競技場）
延べ参加者数	332人	前年度延べ参加者数			94人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	―	407,842円			246,000円

【内容】

バドミントンの指導を行うことで成人の健康づくりを推進する。また、バドミントン人口の増加を図り松山市のスポーツ活性化につなげる。

【結果】　募集定員（ 80人）　応募者数（ 48人）　延べ参加者数（ 332人）

実施が夜間の時間帯で、他の利用者の妨げにならによう留意しながらの開催であり年２期のみの開催である。参加者からは回数を増やして欲しいとの意見も多く、施設の空き状況や他教室の開催期間との調整を行い、回数の増加を図る。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**マシン＆フリーウェイト**				
開 催 時 期	通年	実施総回数	10回	会場	体育館トレーニングルーム
参加者数	43人	前年度参加者数			41人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	48,000円	946円			8,600円

【内容】

財団職員の健康運動指導士とＮＳＣＡ－ＣＳＣＳ（ナショナルストレングス＆コンディショニングスペシャリスト）が、トレーニング初心者に対し、マシンとフリーウエイトの使い方教室（1回120分）を実施する。

【結果】　募集定員（ 50人）　応募者数（ 46人）　参加者数（ 43人）

平成30年6月に実施したトレーニングルームリニューアルに伴い、新規導入したマシンを中心に、使用方法等を指導する教室を実施した。受講をきっかけにトレーニングルームを定期的に利用される方もおり、施設使用料収入の増加と、市民の運動習慣の定着を図ることができた。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**【新規事業】ワンコインフィットネス**				
開 催 時 期	通年	実施総回数	17回	会場	体育館会議室
延べ参加者数	227人	前年度延べ参加者数			―
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	180,000円	45,294円			113,500円

【内容】

体験的な教室を実施することで運動を始めるきっかけを作り、財団他事業への参加に繋げる事業として、健康運動指導士（財団職員）及び外部指導者が1回500円のフィットネス教室（1回60分）を実施する。

【結果】　募集定員（ 255名） 応募者数（ 232人） 参加者数（ 227人）

教室会場となるコミュニティセンター体育館会議室が、定期的に事業が実施されていない日程及び時間帯での開催となったが、募集定員の約90%の応募があり、新規事業として軌道に乗せることができた。また、全17回中15回は財団職員が指導を行い、経費を削減することができた。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**プロジェクトD**				
開 催 時 期	6月～9月,11月～2月	実施総回数	30回	会場	体育館トレーニングルーム外
延べ参加者数	239人	前年度延べ参加者数			193人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	500,000円	176,918円			267,500円

【内容】

肥満男性を対象に、運動指導と栄養指導を行い医療費削減(メタボリック症候群予防改善)につながるダイエットプログラムを提供する事業として、健康運動指導士（財団職員）及び管理栄養士（外部委託）が、グループ指導とパーソナル指導を組み合わせて実施する。

【結果】　募集定員（ 20人） 応募者数（ 21人） 延べ参加者数（ 21人）

参加者の減少体重は平均5ｋｇであった。またウエスト値の平均は94.9ｃｍから87.4ｃｍまで減少しており、平均して7.5ｃｍの減少となった。メタボリック症候群の判断基準であるウエスト値85ｃｍに大きく近づいており、降圧効果や血糖値の改善など医療費の削減効果もあったと推測される。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**愛媛大学社会共創学部協働事業**				
開 催 時 期	12月～3月	実施総回数	20回	会場	体育館会議室・サブアリーナ
延べ参加者数	166人	前年度延べ参加者数			115人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	60,000円	43,992円			54,000円

【内容】

愛媛大学社会共創学部と協働で、成人女性を対象に健康づくりを目的としたシェイプアップ教室及び、子どもの体力向上と親子でのコミュニケーションの機会を作ることを目的とした運動教室を実施する。

【結果】　募集定員（ 30人） 応募者数（ 19人） 参加者数（ 19人） 延べ参加者数（166人）

教室プログラムの考案及び指導は、同大学健康マネジメントコースの浅井英典教授と同大学学生4名が行い、企画アドバイスと運動指導アドバイスは健康運動指導士（財団職員）が行った。
学生は１年間研修をした結果もあり、一般の指導者と遜色ない指導を行うことができた。今後も愛媛大学と協議し、また新たなプログラムを実施していく。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**愛媛大学医学部抗加齢予防医療センター協働事業アンチエイジングプロジェクト**				
開 催 時 期	9月～12月	実施総回数	58回	会場	体育館会議室外
延べ参加者数	450人	前年度延べ参加者数			480人
平成0年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	1,000,000円	260,860円			206,500円

【内容】

愛媛大学医学部抗加齢予防センターと協働でアンチエイジングに効果のある運動指導を行い、実施前後で測定を行い効果を検証する。同大学伊賀瀬医師がアンチエイジングに関する講義を行い、財団有資格職員がアンチエイジング運動指導を行い市民の健康づくりに貢献する。

【結果】　募集定員（ 200人） 応募者数（ 65人） 参加者数（ 62人） 延べ参加者数（450人）

事業実施前後に体重・体脂肪・骨格筋量・握力・脚力・バランステスト・脳健康テスト（心の健康度テスト）を行い、伊賀瀬氏が結果を考察したところ、体重、脚力、脳健康テストの三項目で統計学上アンチエイジングの効果が認められた。事業内容はウォーキング、筋トレ、ストレッチ、バランス運動で、これらの運動を健康運動指導士（財団職員）が指導することで抗加齢効果があることが実証された。

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	**アクアチャレンジクラブ**				
開 催 時 期	11月～12月、1月～3月	実施総回数	450回	会場	アクアパレット
延べ参加者数	3,922人	前年度延べ参加者数			3,619人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	6,699,240円	6,022,572円			883,750円

【内容】

水泳を通してスポーツと健康増進の関心を高めるとともにプールの利用促進を図るため、初心者から上級者までの水泳指導や水中運動指導などを実施した。

【結果】　募集定員（ 850人） 応募者数（ 642人） 参加者数（ 634人） 延べ参加者数（3,922人）

国体開催によるプール休業で利用者のプール離れがあったが、平成30年度は徐々に回復してきた。
人気の高い教室と定員割れの教室に二分化される傾向にあるため、参加者の少ない教室は、講師と相談しながら内容等を変更するなど参加者の増加を目指す。

・水泳教室（2,356名）・アクアビクス教室（815名）・らくらくバランス体操教室（198名）
・水中ダンベルビクス教室（205名）・ノンストレススイミング教室（119名）
・水中ウォーキング＆ジョギング教室（229名）

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	**テ ニ ス 教 室**				
開 催 時 期	通年	実施総回数	266回	会場	テニスコート・屋内運動場・スポーツフロア
延べ参加者数	2,928人	前年度延べ参加者数			2,572人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	4,757,000円	3,297,136円			3,127,000円

【内容】

テニスを通してスポーツと健康増進の関心を高めるとともに、コート予約が少ない時間帯の利用促進を図った。（受講料　１回1,000円）※3回コース、4回コース、5回コースがある

【結果】　募集定員（ 1098人） 応募者数（ 927人） 参加者数（ 839人） 延べ参加者数（2,928人）

毎月定員90人(8月は60名、10月は138名)を募集し、成人を対象としたテニス教室を実施した。各月51人から101人の応募(計927人)があり、実際の受講者は、各月43人から101人(計839人)であった。今後も内容の充実を図りながら、施設の確保ができる限り継続して実施する。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	**ノルディックウォーキング教室**				
開 催 時 期	10月20日、3月27日	実施総回数	2回	会場	中央公園ウォーキングコース
延べ参加者数	10人	前年度延べ参加者数			15人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	48,000円	220円			6,000円

【内容】

本事業は、成人を対象にノルディックポールを使用した身体に負担の少ない正しい歩き方や、怪我予防の為のストレッチ等を指導する教室で、ノルディックウォーキングを通して、スポーツの楽しさや健康増進への関心を高めるため、初心者を対象とした。

【結果】　募集定員（40人）　応募者数（ 10人）　参加者数（10人）

広報まつやまへの掲載およびHPでの告知に加え、中央公園で散歩されている一般市民34名にチラシ配布、市の広報ラジオで告知し参加を募った。これら様々な工夫を行った結果、参加者は10名であった。

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	**フィットネス教室**				
開 催 時 期	通年	実施総回数	280回	会場	スポーツフロア
延べ参加者数	5,508人	前年度延べ参加者数			5,665人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	2,564,000円	2,189,581円			3,528,000円

【内容】

本事業は、ロコモーティブシンドローム（運動器の障害による要介護になるリスクが高い状態）の予防改善を行う事業であり、松山中央公園スポーツフロアで成人を対象に「ストレッチ＆筋トレ教室」、「ピラティス教室」、「体幹シェイプアップ教室」を実施した。

【結果】　募集定員（ 700人）　応募者数（ 634人）　参加者数（ 589人）　延べ参加者数（5,508人）

スポーツと健康増進の関心を高めるとともに、施設予約が少ない時間帯の利用促進を図るために、4期(10回コース/7クラス)で計280回、定員計700人(各期175人)で募集を行い、各期149人～166人、計589人の応募があった。受講者も各期139人～155人(計589人)とダイエット系教室の人気が伺える結果となった。今後も施設の確保ができる限り継続して実施する。

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	**フィットネス教室**				
開 催 時 期	4月～3月	実施総回数	187回	会場	北条スポーツセンター体育館
延べ参加者数	1,730人	前年度延べ参加者数			1,516人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	823,000円	972,554円			1,285,800円

【内容】

北条スポーツセンター体育館で成人を対象に健康増進のため、「引き締めフィットネス教室」「健康な身体の軸づくり教室」「はじめてのヨガ教室」「風早元気教室」を実施する。

【結果】　募集定員（ 520人）　応募者数（ 308人）　参加者数（ 297人）　延べ参加者数（1,730人）

今年度は国体の影響もなく日程に余裕があったため、全5期で教室を開講し、その効果もあって延べ参加人数は前年度比＋214人となった。また、参加者の伸び悩む教室では体験会を実施した。体験会参加者からの評判も良く参加者のおよそ8割は、その後の教室参加に結び付けることにも成功した。

受講料収入も1,285,800円（前年度比+198,400円）と増加した。この理由には「引き締めフィットネス教室」と「健康な身体の軸づくり教室」の好調がある。「風早元気教室」は延べ参加人数昨年度比108人増となり、昨年同様高い継続率を維持している。

＜② 教室事業＞

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	**成人スポーツ教室**				
開 催 時 期	4月～3月	実施総回数	82回	会場	北条スポーツセンター体育館
延べ参加者数	380人	前年度延べ参加者数			240人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	488,000円	290,448円			262,800円

【内容】

市民の健康増進を図ることを目的に、北条スポーツセンター体育館で成人を対象の「バドミントン教室」「フラダンス教室」を実施する。

【結果】　募集定員（ 240人）　応募者数（ 68人）　参加者数（ 67人）　延べ参加者数（380人）

延べ参加人数は380名となり前年度比＋140人(+58%)、受講料収入は262,800円、前年度比＋81,600円(+45%) となった。また、フィットネス教室と同様に体験会を実施することで新規受講者（2人）獲得につなげることができた。

今年度から始まった、フラダンス教室では「初めてだったが踊れるようになって嬉しかった」や「先生が素晴らしく楽しく学べた」と参加者の満足度も高く、成人スポーツ教室の主軸教室になることが期待できる。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター　外				
事　業　名	**カルスポクラブ**				
開 催 時 期	通年	回数	274回	会場	コミセン体育館・松山中央公園・松山市民会館
延べ参加者数	3,787人	前年度延べ参加者数			2,377人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	3,760,000円	2,894,861円			3,087,000円

【内容】

ジョギング初中級者を対象にしたランニング練習会事業を実施する。また、オプションとして有酸素種目の練習会、ランナー向けトレーニング、そして長い距離をゆっくり走るロング走練習会を開催し、ジョギングに慣れ親しむ機会を市民に提供する。

【結果】　募集定員（ 585人）　応募者数（ 517人）　参加者数（ 456人）　延べ参加者数（3,787人）

H27年より始めたこのランニング練習会は、参加者の口コミなどで参加者が増加している。ジョギング事業としては、クラス(開催曜日)を増やしたこともあり、新規参加が32人であった。リピート率は、前期、後期ともに約9割で推移しており、参加者の継続参加希望が高い。参加者のケガや事故等に十分配慮し、継続を図る。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター　外				
事　業　名	**ジョギング教室**				
開 催 時 期	通年	実施総回数	120回	会場	コミセン体育館・松山中央公園・松山市民会館
延べ参加者数	828人	前年度延べ参加者数			796人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	1,920,000円	619,816円			678,000円

【内容】

ジョギング初心者を対象にした教室。続けて20分以上走れることを目標とし、ジョギングに慣れ親しむ機会を市民に提供する。

【結果】　募集定員（ 285人）　応募者数（ 127人）　参加者数（113人）　延べ参加者数（828人）

H22年より始めたこのジョギング教室は、教室終了後も継続参加される方が増えH26年には40名を超え、翌H27年に練習会としてのクラブを開設し、初心者の教室と分けた。その後の参加者数は、H28年239名、H29年230名で推移していたが、本年度H30年は113名と減少した。

次年度よりカルスポクラブの中に初心者（教室形式）グループを作ることで展開し、事業運営の効率化を図りたい。

＜② 教室事業＞

（イ 親子対象）親子が一緒にスポーツに出会い、親子ともにスポーツや健康に関心を持つ人たちの拡大を目指す事業

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**親子教室（体操）**				
開 催 時 期	4月～7月、9月～12月、1月～3月	実施総回数	36回	会場	こども館
延べ参加者数	1,996人	前年度延べ参加者数			2,006人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	672,000円	531,554円			595,200円

【内容】

2歳から3歳児の親子を対象にマット、トランポリン、鉄棒等を使って全身運動する教室を実施することで、親子がコミュニケーションをとりながら、表現力や俊敏性を身に着け、子どもとの相互理解、相互成長を主目的としている。

【結果】　募集定員（ 210組）　応募者数（ 193組）　参加者数（ 372人）　延べ参加者数（1,996人）

母親と一緒にでんぐり返しの練習やトランポリンを使った運動にチャレンジすることで、身体を動かすことは楽しいと感じられるように努め、参加者から好評を得ることができた。3期(各期2コース×6回)で計36回、定員計420人(各期140人)で募集を行い386人の応募があり、372人が受講した。延べ参加者数は、1,996人であった。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**親子教室（リズム）**				
開 催 時 期	4月～7月、9月～12月、1月～2月	実施総回数	30回	会場	こども館
延べ参加者数	1,518人	前年度延べ参加者数			1,948人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	768,000円	435,166円			496,000円

【内容】

2、3歳児と母親を対象に、タンバリンやすず等の楽器を使い音感やリズム感を養成するためリズム教室を開催し、親子がコミュニケーションをとりながら子供との相互理解、相互成長を目指す。

【結果】　募集定員（ 240組）　応募者数（ 163組）　参加者数（ 310人）　延べ参加者数（1,518人）

子どもの健全育成に寄与するこの事業は、参加者にも好評を得ており、子育て支援の面からも有益な事業である。今後も、市民のニーズの把握と内容の充実を図ることにより参加者の増加を図る。今年度は、募集を3期(各期2コース×6回)で計36回、定員計480人(各期160人)で行ったところ326人の応募があり、310人が受講した。延べ参加者は1,518人であった。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**親子水泳教室**				
開 催 時 期	4～7・9～12・1～3月	実施総回数	96回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	2,116人	前年度延べ参加者数			1,986人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	321,000円	440,836円			318,400円

【内容】

親子で楽しみながら水泳を習得するため、3才から6才の児童と保護者を対象に教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 270人）　応募者数（ 324人）　延べ参加者数（ 2,116人）

親子で参加できる運動の場として毎年参加者が増加している。今後も水泳を通した親子のふれあいの場として、また、楽しく運動するきっかけづくりとなる事業として実施する。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**親子わくわくデイキャンプ**				
開 催 時 期	8月4日、8月25日	回数	2回	会場	野外ステージ周辺及び炊事棟
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			70人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	88,000円	806円			0円

【内容】

松山市野外活動センターの利用促進と新たな顧客層の開拓を目的に親子を対象にデイキャンプを実施する。

【結果】

8月4日・25日（日）2回開催を予定していたが、西日本豪雨により12月19日まで施設の閉鎖が決定したため中止となった。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**ツリークライミング「ナマケもの」講座**				
開 催 時 期	1月19日	回数	1回	会場	雨天キャンプファイヤー場 横
参 加 者 数	4人	前年度参加者数			9人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	51,000円	17,212円			10,000円

【内容】

松山市野外活動センターの森林を利用した「木登り」を通して、自然をより身近に感じる新しい体験を提供した。

【結果】　募集定員（ 16人） 応募者数（ 4人） 参加者数（ 4人）

11月実施の予定であったが、豪雨災害の影響で1月の開催となった。日程変更とイベントの周知が行き届かなかったためか16名の募集定員のところ4名の参加となった。但し、参加者からは「楽しかった」「またやってみたい」との感想をいただき、十分満足していただけた事業となった。来年度は「ツリークライミング木登り講座」に名称を変更して実施する。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「森のパン作り」**				
開 催 時 期	9月9日	回数	1回	会場	レストハウス
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			38人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	42,000円	1,205円			0円

【内容】

アウトドアで作れる料理メニューを実体験することを目的にパン生地から作り、好きなように形取り、焼きパンや揚げパンを作る。

【結果】

9月9日（日）に開催を予定していたが、西日本豪雨により12月19日まで施設の閉鎖が決定したため中止となった。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「森のうどん作り」**				
開 催 時 期	5月12日	回数	1回	会場	レストハウス
参 加 者 数	39人	前年度参加者数			22人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	30,000円	12,691円			28,000円

【内容】

アウトドアで作れる料理メニューを実体験することを目的にうどんを麺作りから行ない、できたてを食していただいた。

【結果】　募集定員（ 40人） 応募者数（ 53人） 参加者数（ 39人）

定員40人の事業であるが、応募者18組53人、参加者13組39人であった。
応募の時点で定員を大分超えていたが、キャンセルのことを考え多めに申し込みを受け付けた。当日、子どもの体調不良等でのキャンセルがあり、当日参加者が減少したためほぼ定員通りになった参加者同士で麺の太さなど出来具合を比べ合っている光景も見られ、参加者間の交流の場にもなっていて。参加者にうどん作りを楽しんで体験していただけた。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「森のピザ作り」**				
開 催 時 期	9月29日	回数	1回	会場	レストハウス
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			28人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	48,000円	996円			0円

【内容】

松山市野外活動センターの利用促進と新たな顧客層の開拓を目的として、親子を対象にアウトドアで作れる料理メニューを実体験するために自然の中でピザ作りを楽しむ教室を開催する。

【結果】

9月29日（日）に開催を予定していたが、西日本豪雨により12月19日まで施設の閉鎖が決定したため中止となった。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**エンジョイホリデーイベント「よもぎもち作り」**				
開 催 時 期	3月10日	回数	1回	会場	雨天キャンプファイヤー場
参 加 者 数	51人	前年度参加者数			59人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	20,000円	29,175円			23,000円

【内容】

松山市野外活動センターの利用促進と新たな顧客層の開拓を目的として親子を対象にアウトドアで作れる料理メニューを実体験するために、自然の中でよもぎもち作りを楽しむ教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 50人） 応募者数（ 95人） 参加者数（ 51人）

雨と気温の低下のため当日キャンセルが多く、当初計画していたより大幅に参加人数が減少した。もちつきという内容から衛生面に細心の注意を払う必要があり、参加者にはこまめに手洗い・消毒を行っていただくよう指示したことから安全に運営することができた。保護者も初めての人が多く子どもと一緒に餅つき体験を満喫していた。参加者には大変喜んでいただけた事業となった。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**野活Deはじめてのキャンプ**				
開 催 時 期	8月18日～19日（1泊2日）	回数	1回	会場	野外ステージ周辺及び炊事棟
参 加 者 数	中止	前年度参加者数			―
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	80,000円	3,732円			0円

【内容】

宿泊を伴うキャンプを実施し、テント設営や野外炊飯をとおして野外活動の楽しさを体験する。

【結果】

8月18日(土)・19日(日)に開催を予定していたが、西日本豪雨により12月19日まで施設の閉鎖が決定したため中止となった。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**昆虫観察事業**				
開 催 時 期	7月～8月(中止)、2月3日	回数	1回	会場	キャンプゾーン周辺外
参 加 者 数	17人	前年度参加者数			3,062人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	412,000円	79,555円			0円

【内容】

子供たちが昆虫（カブトムシ）を観察し、楽しんでもらうために、夏季に仮設の「かぶとむしツインドーム」をオープンする。（7月中旬～8月末）。また、同時期に朝・夜のカブトムシ等の採集を目的とした1泊2日のキャンプを実施する。（7月21・22日）。更に、冬季に越冬する昆虫観察会を実施した（2月3日）。

【結果】 募集定員（冬の昆虫観察30人） 応募者数（30人） 参加者数（17人）

夏季に予定していた「かぶとむしツインドーム」のオープンとカブトムシキャンプは西日本豪雨による施設の閉鎖のため中止となった。冬の昆虫観察会の参加者は17人であった。

「かぶとむしツインドーム」は、夏休み期間の目玉的なイベントであり、また、キャンプ・昆虫観察は野外活動センターの自然を活かした事業であるため、今後も継続を図る。

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**森のやすらぎ親子クラブ**				
開 催 時 期	6月～3月	回数	3回	会場	野外教室Ａ・研修室 外
参 加 者 数	64人	前年度参加者数			236人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	594,000円	126,086円			28,200円

【内容】

未就学児童や保護者を対象に、散策や昆虫観察など施設を活かした遊びを楽しんでもらうことを目的に、無農薬で地産地消を意識して、こだわった食材でお昼ごはんを食べてもらう教室事業を実施する。

【結果】 募集定員（ 160組 320人） 応募者数（ 39組 82人） 参加者数（ 31組 64人）

年間8回の開催を予定していたが、西日本豪雨の影響で3回の実施となった。6月7日の1回目の開催時は、定員に近い応募があり、2回目以降の予約も多数いただくなど今後の参加者の増加が見込まれたが、再開後はレストハウスが使用不可となり食事の提供が出来なくなるなどの影響により、参加料を1人200円と安くしたにもかかわらず、応募者・参加者とも前年度を下回った。来年度はホームページに事業の写真を掲載する等内容を充実し、子育て応援の情報誌への掲載や他の施設にチラシを配布することにより、事業の周知の拡大に取り組む。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市野外活動センター				
事　業　名	**【新規事業】レインボーウインターキャンプ**				
開 催 時 期	2月16日	回数	1回	会場	野外ステージ周辺及び炊事棟
参 加 者 数	37人	前年度参加者数			―
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	44,000円	39,660円			18,500円

【内容】

野外活動センターの特色を活かし、冬に行えるテント・タープの設営や野外炊事等の活動を行った。

【結果】　募集定員（ 40人） 応募者数（ 22組 62人） 参加者数（ 14組 37人）

申込者が多く、抽選を行いキャンセルを見込んで18組48人を当選としたが、前日・当日にキャンセルが出た結果、定員を割ることとなった。様々な活動を同じ班の人と協力して活動している光景が見られたので、参加者間の交流を図ることができたのではないかと思われる。早い段階でキャンセルが発生した時は、抽選で漏れた人に連絡を取り、参加を促すなどの方策が必要である。

＜② 教室事業＞

（ウ こども対象）キッズを対象にスポーツに直接触れて体験することにより、幼少期からスポーツ活動への関心を高めることを目的とする教室

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**キッズハンドボール教室**				
開 催 時 期	3月23日	回数	1回	会場	体育館（主競技場）
参 加 者 数	20人	前年度参加者数			17人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	102,000円	21,510円			10,000円

【内容】

子ども達にスポーツとの出会いの場を創出し、未来のスポーツ人口の増加を図ることを目的に、ハンドボールの経験のない小学生を対象に体験型の初心者教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 20人） 応募者数（ 21人） 参加者数（ 20人）

1クラス1回、定員20人で募集し、100％の参加率となった。今後も、一人でも多くの子どもが、スポーツを通じて体を動かすことの楽しさを実感できる事業を推進するとともにスポーツ人口の増加に努める。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**キッズ体操教室**				
開 催 時 期	2月11日	回数	1回	会場	体育館（補助競技場）
参 加 者 数	25人	前年度参加者数			31人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	116,000円	17,335円			12,500円

【内容】

子ども達にスポーツとの出会いの場を創出し、未来のスポーツ人口の増加を図ることを目的に、新体操の経験のない小学生を対象に体験型の初心者教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 20人） 応募者数（ 31人） 参加者数（ 25人）

1クラス1回、定員20人で募集し、定員を上回る応募があり、講師が受入れ可能と判断した。今後も、一人でも多くの子どもが、スポーツを通じて体を動かすことの楽しさを実感できる事業を推進するとともにスポーツ人口の増加に努める。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	キッズコーディネーション教室				
開 催 時 期	4～7・9～12・1～3月	実施総回数	56回	会場	体育館（補助競技場）
延べ参加者数	1,013人	前年度延べ参加者数			722人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	915,000円	596,157円			579,000円

【内容】

神経の発達が最も伸びる時期にある小学生低学年を対象に、運動能力が向上するトレーニングとして近年アスリートにも取り入れられているコーディネーショントレーニング（身体と脳・神経系統のバランスの良い発育を促し、運動の習得効果を高める為のトレーニング法）の教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 120人）　応募者数（ 119人）　参加者数（ 117人）　延べ参加者数（ 1,013人）

6クラス定員20人で募集し、ほぼ定員の応募があった。今後も、一人でも多くの子どもが、スポーツを通じて体を動かすことの楽しさを実感できる事業を推進するとともにスポーツ人口の増加に努める。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	キッズスイミング教室				
開 催 時 期	7月～8月	実施総回数	16回	会場	体育館（温水プール）
延べ参加者数	287人	前年度延べ参加者数			695人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	435,000円	74,987円			156,000円

【内容】

楽しみながら水泳を習得するため、小学4～6年生の泳げない児童を対象とした水泳指導教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 40人）　応募者数（ 110人）　参加者数（ 39人）　延べ参加者数（ 287人）

2クラス8回、定員40人で募集し、定員の3倍近い応募があった。「息継ぎができるようになった」、「25m泳げるようになった」等参加者から喜びの声も多かったことから、募集定員や開催時期等の検討を行い、一人でも多くの小学生が泳げるようになるために事業を継続実施する。

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	キッズバドミントン教室				
開 催 時 期	8月	実施総回数	10回	会場	体育館（補助競技場）
延べ参加者数	217人	前年度延べ参加者数			364人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	277,000円	156,917円			115,000円

【内容】

子ども達にスポーツとの出会いの場を創出し、未来のスポーツ人口の増加を図ることを目的に、バドミントン経験のない小学生を対象に初心者教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 40人）応募者数（ 52人）　参加者数（ 46人）　延べ参加者数（ 217人）

2クラス5回、定員計40人で募集した。定員を大きく上回る応募があった。今後も、一人でも多くの子どもが、スポーツを通じて体を動かすことの楽しさを実感できる事業を推進するとともにスポーツ人口の増加に努める。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山市総合コミュニティセンター				
事　業　名	**キッズバスケットボール教室**				
開 催 時 期	3月9日	実施総回数	1回	会場	体育館（補助競技場）
参加者数	31人	前年度参加者数			48人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	165,000円	11,911円			15,500円

【内容】

子ども達にスポーツとの出会いの場を創出し、未来のスポーツ人口の増加を図ることを目的に、バスケットボール経験のない小学生を対象に体験型の初心者教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 20人）　応募者数（ 34人）　参加者数（ 31人）

1クラス1回、定員20人で募集し、100％の参加率となった。今後も、一人でも多くの子どもが、スポーツを通じて体を動かすことの楽しさを実感できる事業を推進するとともにスポーツ人口の増加に努める。

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	**キッズテニス教室**				
開 催 時 期	4月、8月、12月～2月	実施総回数	19回	会場	テニスコート・屋内運動場・スポーツフロア
延べ参加者数	860人	前年度延べ参加者数			777人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	1,554,000円	527,255円			464,000円

【内容】

子ども達にスポーツとの出会いの場を創出し、未来のスポーツ愛好者の増加を図ることを目的に、テニス経験のない小学生を対象に、初心者教室を開催した。

【結果】　募集定員（180人）　応募者数（158人）　参加者数（143人）　延べ参加者数（860人）

小学生を対象に、3期定員180人(1期定員～60人)を募集したところ、各期32人、59人、67人の応募(計158人)があり、各期受講者32人、51人、60人(計143人)で教室を開催した。夏場に屋外で開催した昨年度の反省を踏まえ、今年度は、屋内運動場で開催し、ミストを設置するなど熱中症対策をしっかりとることができた。屋外でのキッズ事業のため、今後も安全面に配慮して実施する。

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	**キッズサッカー教室**				
開 催 時 期	12月	実施総回数	5回	会場	屋内運動場
延べ参加者数	71人	前年度延べ参加者数			76人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	447,000円	96,677円			42,500円

【内容】

スポーツと子ども達の出会いの場を創出し、未来のスポーツ人口の増加を図ることを目的に、サッカー経験のない小学生女子児童を対象に初心者教室を開催した。

【結果】　募集定員（40人）　応募者数（ 20人）　参加者数（ 17人）　延べ参加者数（71人）

小学生女子児童を対象に、1期5回、定員40人で募集した。指導は、愛媛FCレディース選手と愛媛FCスクールコーチが行った。初回と最後には、現役日本代表選手も指導に加わり、トップアスリートとの交流を通じた楽しさを感じる機会を提供できた。今後は、学校を中心に周知活動を行い、参加児童の拡大を目指す。

＜② 教室事業＞

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	キッズコーディネーション教室				
開 催 時 期	通年	実施総回数	80回	会場	スポーツフロア・屋内運動場・テニスコート
延べ参加者数	2,623人	前年度延べ参加者数			3,204人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	1,331,000円	1,554,587円			1,445,000円

【内容】

神経の発達が最も伸びる時期にある小学生低学年を対象に運動能力が向上するトレーニングとして近年アスリートにも取り入れられているコーディネーショントレーニングの教室を開催した。

*コーディネーショントレーニング
身体と脳・神経系統のバランスの良い発育を促し、運動の習得効果を高めるためのトレーニング法

【結果】　募集定員（ 240人）　応募者数（ 313人）　参加者数（ 289人）　延べ参加者数（2,623人）

4期(各期10回2クラス、計20回)で計80回、定員計240人(各期60人)で募集を行い、各期72人～87人、計313人と定員を超える応募があったが、指導者との打ち合わせで受入可能と判断し、参加者各期66人～81人(計289人)で実施した。教室を卒業した高学年の参加者も、継続して参加を希望するほど好評を得ていることから、今後も内容の充実を図り、継続実施とする。

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	キッズかけっこ教室				
開 催 時 期	8月	実施総回数	8回	会場	屋内運動場
延べ参加者数	482人	前年度延べ参加者数			353人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	687,000円	299,644円			256,000円

【内容】

スポーツの基本動作の一つである「走る」動作をテーマに前年度に新規事業として実施した「キッズランニング教室」の名称を今年度は、親しみやすく、楽しく参加できるように「キッズかけっこ教室」に変更した。夏休み中の子供たちに、楽しく運動する機会を提供した。

【結果】　募集定員（ 50人）　応募者数（ 135人）　参加者数（64人）　延べ参加者数（482人）

小学生の夏休み後半に6回教室で開催した。昨年度同様、応募が130人を超えており、ニーズの高さを再認識した。今後は、安全面に配慮しながら、指導者を増員し、定員を広げて募集する。

施　設　名	松山中央公園				
事　業　名	キッズジョギング教室				
開 催 時 期	通年	実施総回数	30回	会場	スポーツフロア
延べ参加者数	629人	前年度延べ参加者数			324人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	652,000円	280,125円			341,000円

【内容】

スポーツと子ども達の出会いの場を創出し、未来のスポーツ人口の増加を図ることを目的に、小学生を対象にランニング教室を開催した。

【結果】　募集定員（ 100人）　応募者数（93人）　参加者数（ 91人）　延べ参加者数（629人）

4期(各6～8回)で、計30回、定員計100人(各期25人)で募集を行い、各期21人～25人、計93人の応募があり、91名が受講(各期21人～25人)した。今後は、内容の充実等を図りながら、学校を中心に周知活動を行い、参加児童の拡大を目指す。

＜② 教室事業＞

施　設　名	北条スポーツセンター				
事　業　名	**キッズスポーツプロジェクト**				
開 催 時 期	4月～3月	実施総回数	183回	会場	体育館、フットサル場、陸上競技場
延べ参加者数	4,014人	前年度延べ参加者数			3,254人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料(受講料)収入
	2,359,000円	1,964,641円			2,223,000円

【内容】

子供たちにスポーツとの出会いの場を創出し、未来のスポーツ人口の増加を図ることを目的とした、小学生対象のスポーツ教室で、「バドミントン教室」「スポーツアカデミー教室(運動能力向上)」「タグラグビー教室」「バスケットボール教室」「テニス教室」「かけっこ教室」を実施する。

【結果】　募集定員（ 610人） 応募者数（ 603人） 参加者数（ 596人） 延べ参加者数（4,014人）

延べ参加者数は4,014人（前年度比+760人）となり、受講料収入も2,223,000円（前年度比+441,500円）と大きく増加した。
教室参加者からは「色々な教室があって良い」や「毎回楽しく通えている」という声もあり、子供たちのスポーツへの関心を高める教室事業となった。

③　情報提供事業　（他事業と共通）

財団が実施する事業内容や参加者の声などを紹介し、スポーツ活動の魅力を広く紹介する事業を実施する。

市民の文化やスポーツへの関心を高めるとともに、財団事業のPR、利用者への利便性向上のために、財団の主催事業や各施設でのイベントを紹介する「きゃめりあ」を発行した。また、ホームページによる施設情報や文化・スポーツ情報の提供を行うほか、様々なメディアを活用し情報の発信に努めた。

内　　容	実施時期	配布数	決算額
施設情報誌「きゃめりあ」発行	月 1 回	19,200枚	77,598円
ホームページによる施設、事業案内	随　時	―	―

④　拠点施設運営事業

スポーツ愛好者が活動を行うことによりスポーツの楽しさを享受するとともに、多くの市民が観戦等を通してスポーツに接する機会が持てるよう、拠点となるスポーツ施設を運営する。

松山市総合コミュニティセンター

＜1＞専用利用施設

より多くの市民がスポーツ活動を行うため、日程調整会、予約システムにより、スポーツ目的利用及びスポーツ団体を優先して貸し出す運営に努めた。

体育館（専用利用スペース）

＜2＞個人利用施設

より多くの市民が気軽にスポーツ活動を行うために、個人利用者を対象に施設の開放に努めた。

体育館（個人利用スペース）

温水プール

松山中央公園

＜1＞専用利用施設

より多くの市民がスポーツ活動を行うため、日程調整会、予約システムにより、スポーツ目的利用及びスポーツ団体を優先して貸し出す運営に努めた。

メイン野球場（会議室を含む）

サブ野球場

プール（専用利用スペース）

屋内運動場

スポーツフロア

運動広場

テニスコート

＜2＞個人利用施設

より多くの市民が気軽にスポーツ活動を行うため、個人利用者を対象に施設の開放に努めた。

プール（個人利用スペース）

松山市野外活動センター

＜1＞専用利用施設

より多くの市民がスポーツ活動を行うため、日程調整や予約システムにより、スポーツ目的利用及びスポーツ団体を優先して貸し出す運営に努めた。

スクールゾーン（研修棟を除く）

キャンプゾーン

アドベンチャーゾーン

北条スポーツセンター・北条体育館

＜1＞専用利用施設

より多くの市民がスポーツ活動を行うため、日程調整会、予約システムにより、スポーツ目的利用及びスポーツ団体を優先して貸し出す運営に努めた。

体育館（会議室を含む）

球技場

陸上競技場

フットサル場

野球場

北条体育館

公益目的事業３

（１）埋蔵文化財の発掘、保存、調査研究及び文化財保護の普及啓発に関すること
（定款第4条第1項第3号事業）

（２）松山市から受託する文化・スポーツ拠点施設等の管理運営
（定款第4条第1項第4号事業）

①　教室事業

市民が古代の生活文化を体験したり、実際に発掘された遺物にふれながら、遺物に関する知識を学んだり、地域に点在する古墳等の遺跡について学ぶなどの機会を提供する事業

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**古 代 体 験 教 室**				
開 催 時 期	通年	回数	292回	会場	松山市考古館 外
参 加 者 数	7,172人	前年度参加者数			6,525人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	494,500円	610,682円			1,039,500円

【内容】

石勾玉作り、再生琥珀勾玉作、ガラス勾玉作り、合金で銅銭作・ミニ銅鏡作り、ふんどう君ペンダント作り、染物体験、土器作り、キャンドル作り、拓本体験、火おこしなどの古代生活の体験教室を開催した。

【結果】

参加者数は7,172人で、前年度比で647人増加した。事業参加費収入は1,039,500円、前年度比（611,250円）で428,250円増加した。増加の要因として、各体験教室・古代体験イベントの実施回数を増やし（2回増）、開催日を展示会のポスター・チラシやホームページ・広報誌に掲載することにより、市民の方々がより多くの体験をする機会を提供できた。次年度は大型連休などでの各種の体験教室を拡充するなどし、参加者数の増加を図る。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**わかりやすい考古学講座「発掘　松山の遺跡Ⅷ」**				
開 催 時 期	6月～3月	回数	10回	会場	松山市考古館 外
参 加 者 数	551人	前年度参加者数			524人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	108,000円	114,531円			85,000円

【内容】

主に北条地区の遺跡を取り上げ、解説する講座『発掘　松山の遺跡Ⅷ』を実施した。

【結果】

前年度の参加者アンケートで現地見学の希望があり、北条・別府遺跡の発掘調査現地見学と、松山城三之丸跡での現地見学を行い、利用者数増と満足度向上に努めた。応募者数は88人（昨年比1人増）、定員(90人)の98%、延べ参加人数も昨年比27人増(105.2%)であった。また、来年度の案内方法は、公民館や高齢者クラブに出向き、口頭での案内とチラシの配布を行う。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**出前考古学講座**				
開 催 時 期	通年	回数	99回	会場	市内小学校 外
参 加 者 数	9,305人	前年度参加者数			8,899人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	91,000円	70,560円			20,000円

【内容】

学校や公民館等に出向いて講義や古代体験を行うことで、学校教育や生涯学習を支援することを目的としている。地域の遺跡を紹介し、出土した土器を「見る」、「触れる」機会を提供する。古代体験では、古代衣装の試着、火おこし、勾玉作りなどの機会を提供した。

【結果】　募集定員（ 6,500人）　参加者数（9,305人）

実施件数は99回で、前年度比(84回)15回増加し、参加者数は9,305人で前年度比で406人増加した。来年度は今年度利用のなかった公民館等を主体に訪問・電話連絡等して、口頭での案内やチラシを配布する。また、利用団体への紙面(場合によっては口頭)でのアンケートを実施する。

＜① 教室事業＞

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**地域のたから再発見**				
開 催 時 期	通年	回数	7回	会場	素鷲公民館 外
参 加 者 数	723人	前年度参加者数			441人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	31,000円	16,069円			0円

【内容】

平成26年度から5か年計画で実施している事業で、地域の宝である遺跡や発掘出土品を知ることで「誇れる」地域の歴史や文化を伝え・育むことを目的に、地域の活性化に寄与するものである。公民館等において、該当地域から実際に出土したものを展示し、その地域に残された遺跡の話を中心に講座を実施した。

【結果】　募集定員（ －人）　参加者数（723人）

前年度から引き続き連携させていただいた公民館（素鷲公民館、星岡公民館、味生公民館、中島公民館）との講座・勉強会に加えて、北条地区の公民館等（北条中央会館及び北条南中学校）と連携を取ることで、延べ参加者は441人から723人（前年比約164%）に増加した。平成31年度も継続して事業の連携・実施が行えるように埋蔵文化財センター全体で業務の協力・バックアップ体制作りに取り組む。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**まつやまの歴史を学ぼう「はじめての考古学教室」**				
開 催 時 期	8月～9月、11月～12月	回数	10回	会場	松山市考古館 外
参 加 者 数	136人	前年度参加者数			197人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	30,000円	21,355円			16,000円

【内容】

主婦層・高齢者層が松山の歴史や考古学への興味と関心を高めることを目指す事業。２期５回延べ10回開催し、考古学・発掘調査の基礎用語等をスライドや出土品などを用いて解説する。１期５回と２期５回を行い、１期は毎週金曜日に五週連続で、家庭の主婦層にも受講しやすい時間帯（平日、午前10時～11時30分）、２期は毎週水曜日に時間帯(平日、午後2時～3時30分)である。

【結果】　募集定員（１期・2期60人、延136人）　参加者数（32人）

参加者数は延136人（10回）であった。平日に曜日・時間帯を変えて実施(1期は金曜日午前、２期は水曜日午後)したが、応募者は1期18人、2期15人で、定員(各30人)の50～60%であった。延べ参加者数は、昨年度比69%にとどまった。来年度は、2期の時間帯を変更して1期と同様に、午前へ変更し参加者増を図る。また、1期の教室時期を猛暑の時期(8月～9月)を避け、秋期(9月～10月)へ変更する。

② 展示事業

市民が、地域の歴史について出会い、伝え、広めることが出来るよう、様々な展示を通して埋蔵文化財への関心を高めるための機会を提供する事業

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「四国の彩り」**				
開 催 時 期	4月28日～7月8日	回数	61日	会場	松山市考古館
来 場 者 数	5,329人	前年度来場者数			4,666人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	479,000円	418,906円			0円

【内容】

四国内の埋蔵文化財センター5団体が合同で実施する発掘出土品の巡回展を開催した。展示会は四国の色彩をテーマに、四国内の遺跡から出土した金色の耳飾りや赤色の土器、緑色の石製腕輪について写真パネルや出土品で紹介した。

【結果】展示解説会2回（88人）・講演会1回（53人）・ギャラリートーク10回（54人）

ターゲットを絞りチラシを配布し、色彩に関連した「石勾玉づくり」や「マリングラスづくり」の古代体験教室を会期中に計11日実施したことにより、関連事業を含めた展示会の延べ参加者は4,666人から5,329人（前年比約114%）に増加した。平成31年度からは「四国の風土と暮らし」をテーマとした展示会を4年計画で実施する。

＜② 展示事業＞

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」**				
開 催 時 期	7月14日～11月11日	回数	138回	会場	松山市考古館 外
参 加 者 数	6,092人	前年度参加者数			7,117人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	770,000円	696,282円			114,000円

【内容】

（公財）愛媛県埋蔵文化財センターとの連携事業（共同主催）で、事業の主体となる展示会は、前年度に松山市内や愛媛県内で発掘調査した遺跡や発掘調査報告書の刊行された遺跡の出土品を展示するもので、7月～9月に「掘ったぞな松山」、9月～11月に「いにしへのえひめ」展を開催した。

【結果】考古館で報告会4回・講演会2回（246人）・親子考古学講座（歴史バスツアーと連動）1回（19人）
古代体験まつり1回（958人）・歴史バスツアー3回（57人）

東京国立博物館との相互貸借事業が急遽決定し、展示会の会期を大幅に短縮［開館日数が145日から101日に減小（前年比約70%）］することになったが、ターゲットを絞りチラシを配布したことにより、延べ参加者は一日平均49人から60人（前年比約120%）に増加した。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**特別展『松山の至宝～東京国立博物館所蔵品・里帰り展～』・『松山の至宝～祈りの器２～』**				
開 催 時 期	11月17日～1月27日・2月2日～3月10日	回数	102回	会場	松山市考古館
来 場 者 数	4,372人	前年度来場者数			3,251人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	4,264,000円	3,503,811円			0円

【内容】

東京国立博物館との相互貸借事業が急遽決定し、展示会を当初予定の1回から、テーマ別に展示会を合計2回開催した。1回目は、11月～1月に東京国立博物館所蔵の借用資料全43点を展示する『松山の至宝～東京国立博物館所蔵品・里帰り展～』を開催し、2回目は2月～3月に東京国立博物館所蔵品の他に、奈良国立博物館所蔵品・国重要文化財などと合わせた『松山の至宝～祈りの器２～』を開催した。開催にあわせて、展示会ごとに講演会・展示解説会・ギャラリートークや古代体験イベントを開催し、展示会をより楽しんでもらう企画を実施した。

【結果】・講演会3回（158人）・体験イベント2回（780人）・ギャラリートーク5回（46人）
・解説会3回（61人）

今回の特別展では、通常、２ヶ月程度しか借用できない東京国立博物館所蔵品が相互貸借事業で半年間の長期間借用できたため、テーマを替えて展示会を２回企画でき、市民の方々により観覧する機会を提供できた。結果、来場者数は4,372人、前年度特別展より人1,121人増であった。次年度も市民が興味を持っている題材をテーマとした展示構成となるよう協議・検討する。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**考古館ロビー展**				
開 催 時 期	4月1日～3月31日	回数	653回	会場	松山市考古館
来 場 者 数	35,378人	前年度来場者数			28,691人
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	249,000円	414,244円			0円

【内容】

市民の関心が高い古代ハス・古代米の育成と展示、発掘調査直後にその成果をいち早く市民に公開する展示等をロビーや特別展示室で行った。

【結果】・大連古代蓮の育成と写真展示（19,196人）・発掘情報展6回（15,395人）
・考古館楽しかった2017展（787人）・ロビーコンサート12回（258人）

来場者数は35,378人で、前年度比で6,687人増加した。「大連古代蓮」育成では、開花数増加のため、育成用の水槽を増し、開花数は18輪増加した。各種広報活動の結果、開花時期の観覧者は5,944人（前年度比2,722人増）であった。ロビーでは、発掘情報展を6回開催し、毎月ロビーコンサートを実施した。次年度は、発掘調査の現地説明会と発掘情報展を連携（説明会後の4週間程度の速報展示）して実施することで来館者数の増加を図る。

③ 発掘調査研究事業

市内における重要遺跡等の発掘調査、周知の埋蔵文化財包蔵地内における試掘調査を実施し、整理、保存処理及び分析等の工程を実施し、その成果物として詳細な報告書を作成し、関係各所へ配布することで埋蔵文化財の保護思想の周知に努め、考古学の研究発展に寄与する事業

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**埋蔵文化財発掘調査事業**				
開 催 時 期	通年	件数	8件	会場	松山市全域及び 埋蔵文化財センター
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	74,999,000円	29,556,382円			0円

【内容】

民間・公共の開発に伴う委託契約により発掘調査（本格調査）を実施するとともに、報告書作成に伴う整理及び刊行を行った。

【結果】

本格調査は5件(前年度13件)で前年度比8件減少し、調査面積は2,037㎡（前年度5,358㎡）で、前年度比で3,321㎡減少した。事業経費の減少は発掘調査件数の減少によるものである。また、報告書作成に伴う整理作業は3件（昨年度4件）を実施し、報告書は2冊（15遺跡所収）を刊行した。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**埋蔵文化財発掘調査補助事業**				
開 催 時 期	通年	件数	9件	会場	松山市全域及び 埋蔵文化財センター
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	40,446,000円	35,244,204円			0円

【内容】

国庫補助事業委託による重要遺跡確認調査及び個人住宅建設に伴う発掘調査（本格調査）の実施、これに係る報告書作成に伴う整理・刊行業務、遺跡地図情報の整理、公共・民間の開発に伴う試掘調査や踏査並びに松山城三之丸跡保存整備に伴う発掘調査等を実施した。

【結果】

本発掘調査並びに重要遺跡確認調査等は3件（前年度3件）で前年度と同数であった。
試掘調査は144件（前年度129件)で、前年度比で15件増加し、試掘調査面積は156,358㎡（前年度105,225㎡）で、前年度比で51,133㎡増加した。事業費の減少は本格調査費用減によるものである。
出土物等の整理業務は5件6遺跡（前年度2件4遺跡)を実施し、報告書は2冊（4遺跡所収・前年度1冊2遺跡）を刊行した。

施　設　名	松山市立埋蔵文化財センター				
事　業　名	**埋蔵文化財センター出土物整理・保存、報告書作成事業**				
開 催 時 期	通年	回数	―	会場	埋蔵文化財センター
平成30年度事業費	予算額	決算額			参加料等収入
	1,796,020円	862,521円			0円

【内容】

昭和40年代からの発掘調査済みの遺跡のうち、未整理遺跡の出土遺物等、発掘調査資料の整理・保存、収蔵及びデータ整理に基づく調査報告書を作成した。

【結果】

平成31年度報告予定の2遺跡をはじめとする未整理遺跡の遺物整理及び姫原遺跡2次調査、松山城三之丸跡13・15次調査、船ヶ谷遺跡3・4号墳、南江戸上沖遺跡1・2次調査、余戸中の孝遺跡4次調査から出土した金属製品の保存処理、収蔵を実施した。調査報告では年報1冊（各300部）を刊行した。
（報告書刊行状況＝調査済遺跡数…783遺跡　／　刊行済…512遺跡　／　未刊行…271遺跡）

④　拠点施設運営事業

埋蔵文化財を調査・研究し、遺物などの整理・保存・収蔵に努めるとともに、これらの研究成果について報告書を作成して、これを広く全国に配信することにより、地域固有の歴史と文化の紹介を広く行う。また、これらの成果物を活用した埋蔵文化財の周知及び普及啓発を同時に行うことにより、市民が地域のアイデンティティを再発見し後世に伝えることの出来る文化施設を運営する。

松山市立埋蔵文化財センター

考古館

松山市内における埋蔵文化財の発掘調査によって発見された遺跡から出土した遺物や写真等を活用し、特別展や体験学習セミナー・遺跡めぐり等を開催することにより、埋蔵文化財保護思想の普及啓発を実践する拠点施設運営に努めた。

情報館

松山市内で出土した土器や石器等を整理・保管し、埋蔵文化財センター及び考古館と一体となって展示・収蔵施設を備えた埋蔵文化財保護施設運営に努めた。

収益事業

（１）管理運営する文化・スポーツ施設を公益目的以外で行う貸与事業
（定款第4条第2項第1号事業）

（２）管理運営する文化・スポーツ施設における駐車場及び売店の運営
（定款第4条第1項第2号事業）

①　収益事業

文化・スポーツ施設における公益目的事業以外への貸与及び駐車場・売店などの施設を運営する。

松山市総合コミュニティセンター

＜１＞研修、会議など文化・スポーツ施設における、文化・スポーツ利用目的以外への施設の貸与

キャメリアホール

民間プロモーターの開催するコンサート、企業研修会やセミナーなどへの貸与

研修会議室

企業研修や展示会などへの貸与

企画展示ホール

業界向け展示会や一般向け小売展示会などへの貸与

＜２＞施設利用者が利用する駐車場・売店の運営

駐車場

松山中央公園

＜２＞施設利用者が利用する駐車場・売店の運営

売店等

松山市民会館

＜１＞研修、会議など文化・スポーツ施設における、文化・スポーツ利用目的以外への施設の貸与

大ホール・中ホール・小ホール

民間プロモーターの開催するコンサート、企業研修会やセミナーなどへの貸与

会議室・和室・洋室

企業研修や展示会などへの貸与

松山市野外活動センター

＜１＞研修、会議など文化・スポーツ施設における、文化・スポーツ利用目的以外への施設の貸与

スクールゾーン（研修棟）

宿泊を兼ねた企業研修会などへの貸与

❹ 文化・スポーツ拠点施設等の管理運営

（１）全体の利用者状況・収入状況

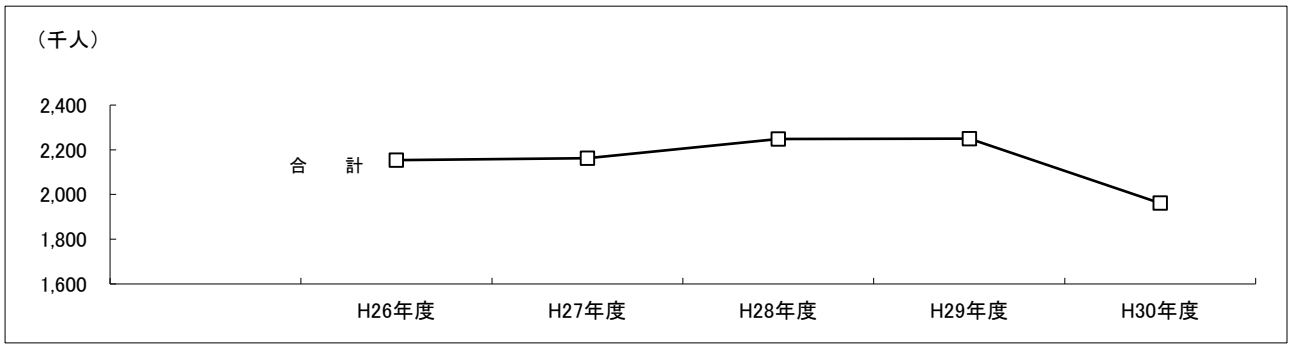
①利用者状況

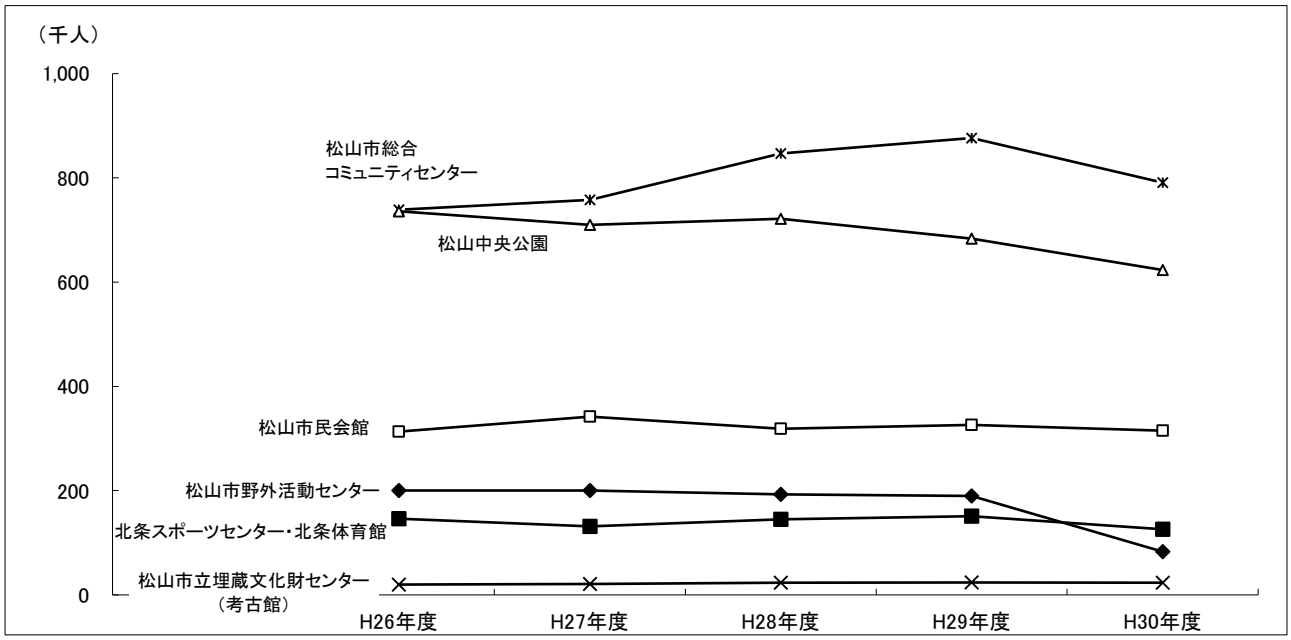
本年度の利用者数は1,961,319人で、前年度の2,250,011人に比べ、288,692人（12.8%）減少している。

施設別の利用者状況５ヵ年推移　　（人）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
松山市総合コミュニティセンター	738,852	757,759	846,456	876,438	791,010
松山中央公園	735,860	709,764	721,279	683,374	623,200
松山市民会館	313,263	341,951	318,537	325,862	315,051
松山市立埋蔵文化財センター（考古館）	19,841	20,861	23,303	23,809	23,272
松山市野外活動センター	200,259	200,105	193,025	189,590	82,907
北条スポーツセンター・北条体育館	146,069	131,508	145,023	150,938	125,879
合計	2,154,144	2,161,948	2,247,623	2,250,011	1,961,319

○財団全体の利用者状況５ヵ年推移





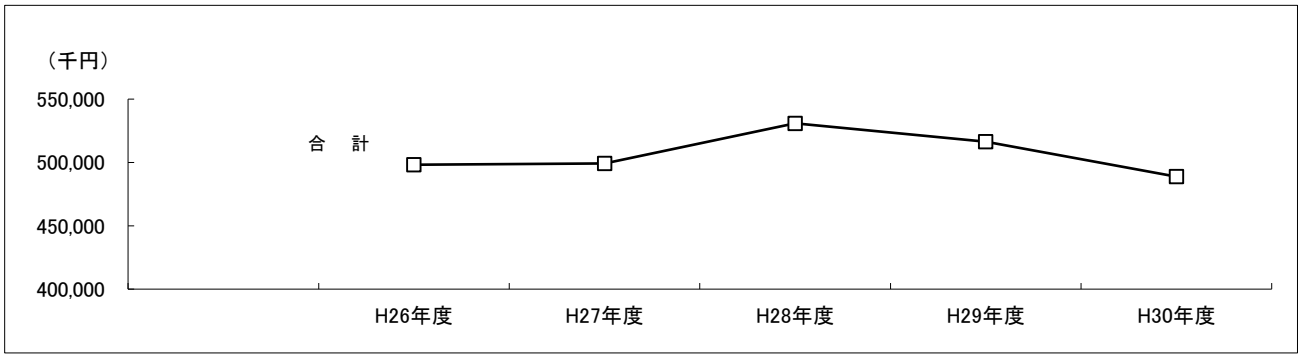
②使用料等収入状況

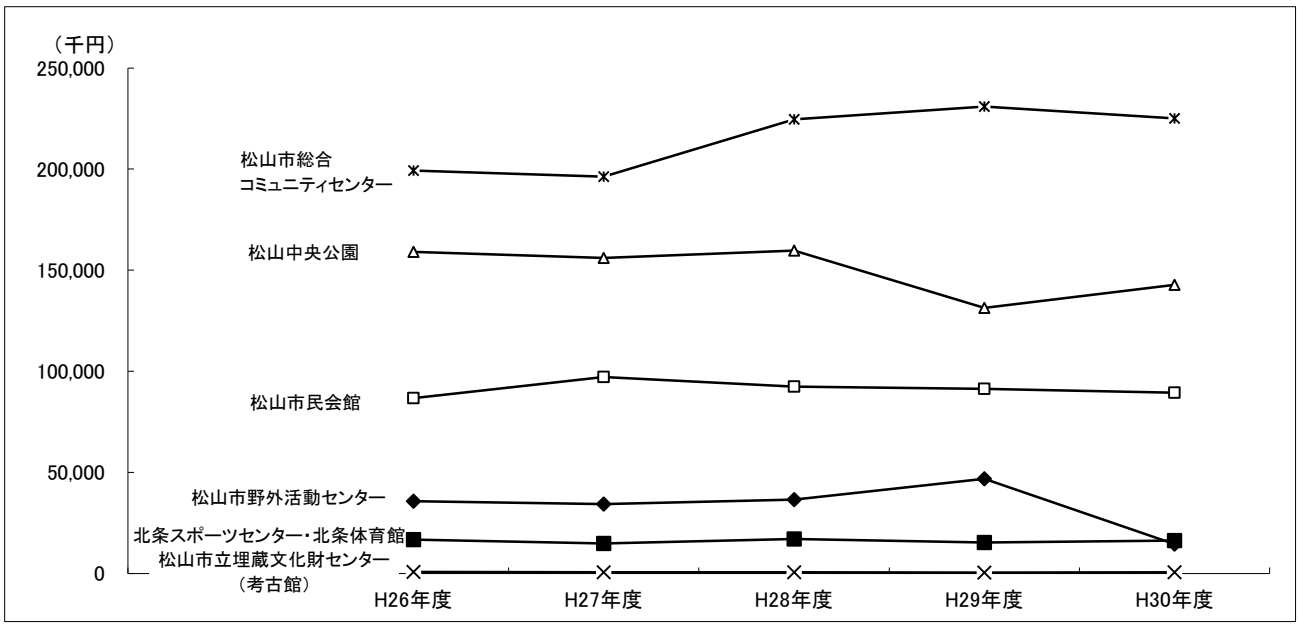
本年度の使用料等収入は488,791,547円で、前年度の516,437,130円に比べ、27,645,583円（5.4%）の減少となっている。

施設別の使用料等収入状況５ヵ年推移　　（円）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
松山市総合コミュニティセンター	199,207,570	196,194,202	224,544,843	230,977,880	225,090,780
松山中央公園	159,080,735	156,117,127	159,777,051	131,424,300	142,795,674
松山市民会館	86,682,150	97,192,680	92,382,330	91,349,600	89,464,460
松山市立埋蔵文化財センター（考古館）	688,450	599,020	641,420	499,100	586,730
松山市野外活動センター	35,792,855	34,272,665	36,465,840	46,889,390	14,613,165
北条スポーツセンター・北条体育館	16,742,220	14,807,270	17,073,220	15,296,860	16,240,738
合計	498,193,980	499,182,964	530,884,704	516,437,130	488,791,547

○財団全体の使用料等収入状況５ヵ年推移





（２）松山市総合コミュニティセンター管理運営事業

本年度の利用者数は、791,010人で、前年度の876,438人に比べ85,428人(9.7%）減少している。また、使用料等収入は、225,090,780円で、前年度の230,977,880円に比べ、5,887,100円（2.5%）減少している。

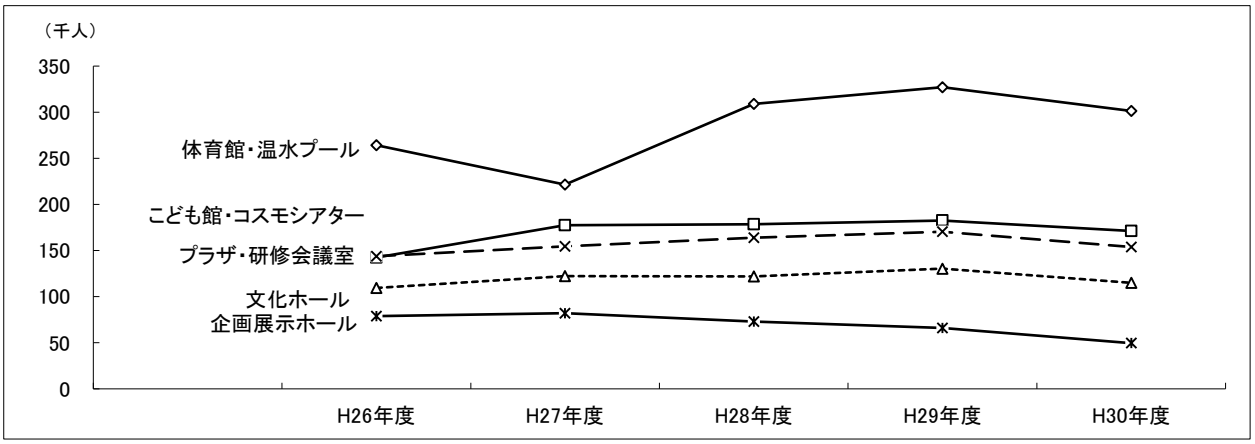
主な要因としては、キャメリアホールでの催事が簡素化されたことによる料金単価の減少と食堂の撤退によるものである。

①利用者状況

利用者状況５ヵ年推移　（人）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
体育館・温水プール	264,195	221,494	308,911	327,129	301,507
プラザ・研修会議室	142,460	177,308	178,620	182,503	171,344
文化ホール	109,438	122,433	121,896	130,409	114,817
こども館・コスモシアター	143,822	154,460	163,949	170,367	153,778
企画展示ホール	78,937	82,064	73,080	66,030	49,564
合計	738,852	757,759	846,456	876,438	791,010

○施設別の利用者状況５ヵ年推移

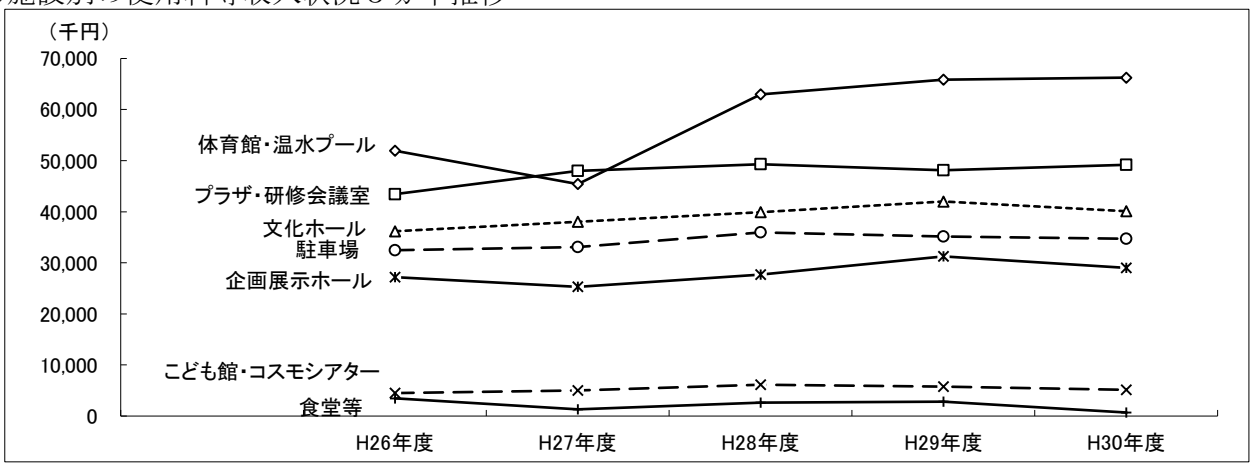


②使用料等収入状況

使用料等収入状況５ヵ年推移　（円）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
体育館・温水プール	51,971,350	45,412,290	62,979,375	65,859,870	66,257,920
プラザ・研修会議室	43,442,670	47,986,200	49,293,730	48,140,790	49,207,190
文化ホール	36,178,410	38,049,710	39,911,175	42,004,140	40,081,850
こども館・コスモシアター	4,498,510	5,024,160	6,135,210	5,762,680	5,130,060
企画展示ホール	27,180,030	25,290,130	27,668,960	31,253,300	29,005,260
駐車場	32,464,100	33,105,500	35,946,800	35,155,100	34,714,100
食堂等	3,472,500	1,326,212	2,609,593	2,802,000	694,400
合計	199,207,570	196,194,202	224,544,843	230,977,880	225,090,780

○施設別の使用料等収入状況５ヵ年推移



（３）松山中央公園管理運営事業

本年度の利用者数は、623,200人で、前年度の683,374人に比べ60,174人（8.8%）減少している。また、使用料収入は、142,795,674円で、前年度の131,424,300円に比べ、11,371,374円（8.7%）増加している。

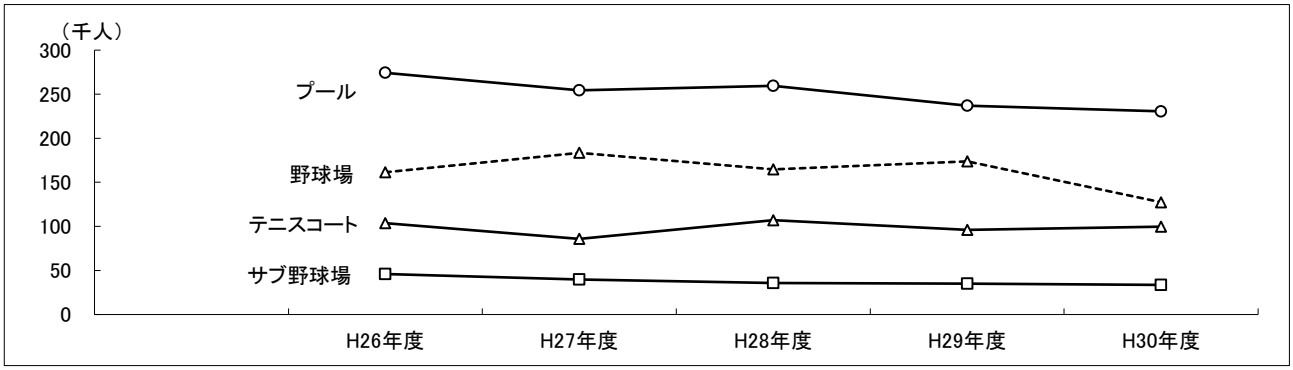
主な要因としては、前年度に開催されたえひめ国体の開催及び準備による施設使用料の減免差と個人利用の回復が挙げられる。

①利用者状況

利用者状況５ヵ年推移　（人）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
野球場	161,452	183,471	164,825	173,716	127,411
サブ野球場	45,954	39,813	35,678	34,953	33,619
屋内練習場	73,375	69,490	65,327	66,218	63,048
屋内運動場	32,991	30,369	30,360	31,751	28,596
運動広場	44,136	46,298	58,451	43,707	40,313
テニスコート	103,689	85,839	107,063	96,211	99,628
プール	274,263	254,484	259,575	236,818	230,585
合計	735,860	709,764	721,279	683,374	623,200

○施設別の利用者状況５ヵ年推移



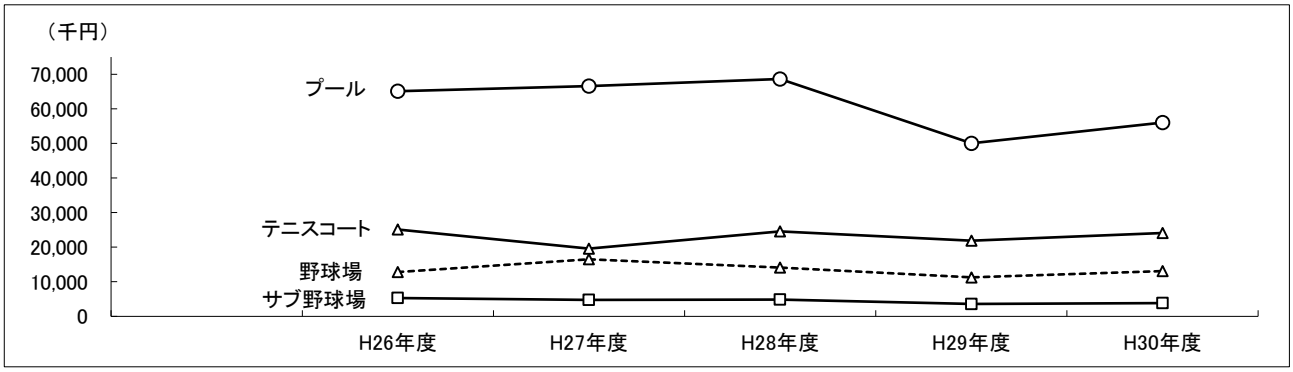
②使用料収入状況

使用料収入状況５ヵ年推移　（円）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
野球場	12,776,804	16,507,587	14,146,115	11,283,036	13,047,605
サブ野球場	5,301,655	4,794,510	4,874,135	3,592,440	3,876,072
屋内練習場	8,185,840	8,123,930	7,746,965	7,146,500	7,225,603
屋内運動場	6,306,240	4,824,590	4,457,730	4,241,230	4,472,384
運動広場	6,110,640	4,421,980	5,318,420	3,241,430	3,958,408
テニスコート	25,121,790	19,593,005	24,587,685	21,900,180	24,144,330
プール	65,087,520	66,550,310	68,642,580	50,055,145	56,035,185
その他	30,190,246	31,301,215	30,003,421	29,964,339	30,036,087
合計	159,080,735	156,117,127	159,777,051	131,424,300	142,795,674

＊屋内練習場は屋内練習場外6施設を含む。　＊その他収入は広告収入、売店収入等を含む。

○施設別の使用料収入状況５ヵ年推移



（４）松山市民会館管理運営事業

本年度の利用者数は、315,051人で、前年度の325,862人に比べ10,811人（3.3%）減少している。また、使用料収入は、89,464,460円で、前年度の91,349,600円に比べ1,885,140円（2.1%）減少している。

主な要因としては、使用料金の単価が高い大・中ホールでのプロモーターによる興行が減ったことが挙げられる。

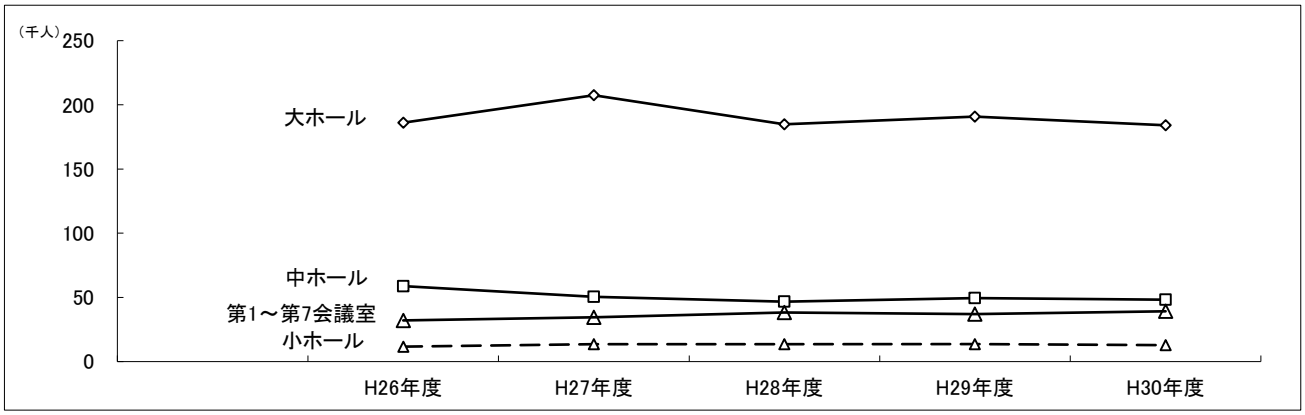
①利用者状況

利用者状況５ヵ年推移　（人）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
大ホール	186,213	207,499	184,976	190,862	184,100
中ホール	58,814	50,450	46,702	49,425	48,286
小ホール	11,654	13,515	13,458	13,662	12,708
第１～第７会議室	32,087	34,434	38,163	36,970	39,185
和室２	1,648	2,054	1,899	2,021	1,909
洋室１～３	5,873	7,135	7,613	7,871	6,783
リハーサル室	7,374	11,020	9,329	10,146	10,156
練習室１～２	9,600	15,844	16,397	14,905	11,924
合計	313,263	341,951	318,537	325,862	315,051

＊小ホールは小ホール会議室、和室1を含む。

○施設別の利用者状況５ヵ年推移



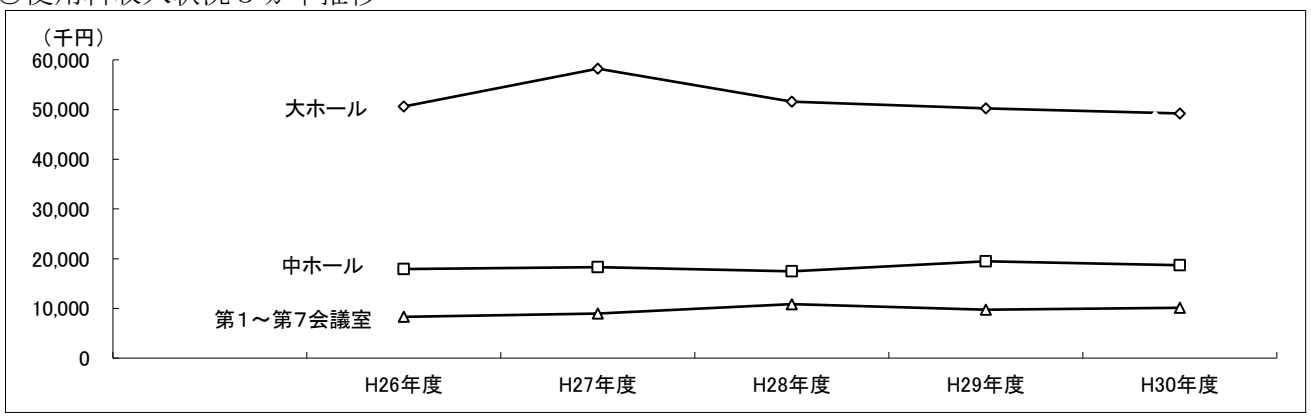
②使用料収入状況

使用料収入状況５ヵ年推移　（円）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
大ホール	50,602,000	58,224,180	51,618,290	50,235,530	49,214,330
中ホール	17,943,200	18,305,620	17,458,210	19,475,970	18,659,350
小ホール	2,963,910	3,331,290	3,789,880	3,361,580	3,248,760
第１～第７会議室	8,299,760	8,946,020	10,859,110	9,761,080	10,104,590
和室２	503,750	691,510	750,160	657,270	690,970
洋室１～３	1,940,300	2,228,930	2,329,700	2,234,870	2,312,960
リハーサル室	1,880,960	2,276,930	2,221,100	2,472,750	2,315,870
練習室１～２	2,548,270	3,188,200	3,355,880	3,145,250	2,907,530
その他（ロッカー）	－	－	－	5,300	10,100
合計	86,682,150	97,192,680	92,382,330	91,349,600	89,464,460

＊小ホールは小ホール会議室、和室1を含む。

○使用料収入状況５ヵ年推移



（５）松山市立埋蔵文化財センター管理運営事業

本年度の利用者数は、23,272人で、前年度の23,809人に比べ、537人（2.3%）減少している。

また、観覧料等収入は、586,730円で、前年度の499,100円に比べ、87,630円（17.6%）増加している。

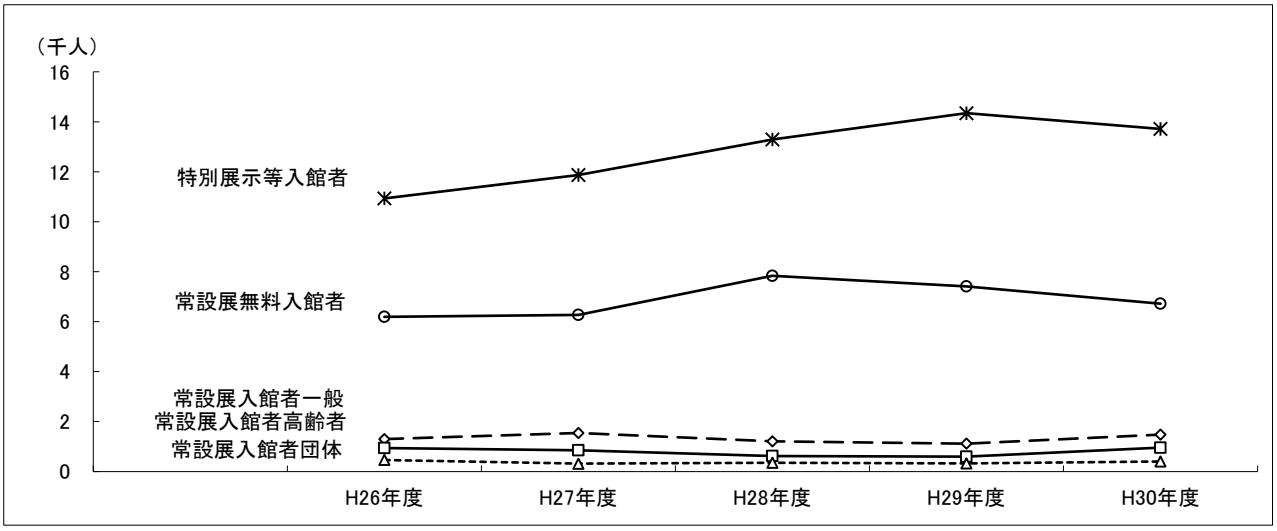
主な増加要因としては、当館の30周年を記念した「東京国立博物館所蔵品・里帰り展」を開催し、好評を得たことや、古代ハスの開花に合わせて開催した「古代体験イベント」の参加者が得られたことが挙げられる。

①利用者状況

松山市立埋蔵文化財センター（考古館）利用者状況 5ヵ年推移　（人）

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
常設展示	一般	1,302	1,546	1,209	1,118	1,475
	高齢者	948	853	620	599	960
	団体	464	321	353	332	411
	無料入館者	6,194	6,273	7,836	7,415	6,718
特別展示等		10,933	11,868	13,285	14,345	13,708
合計		19,841	20,861	23,303	23,809	23,272

○施設別の利用者状況５ヵ年推移

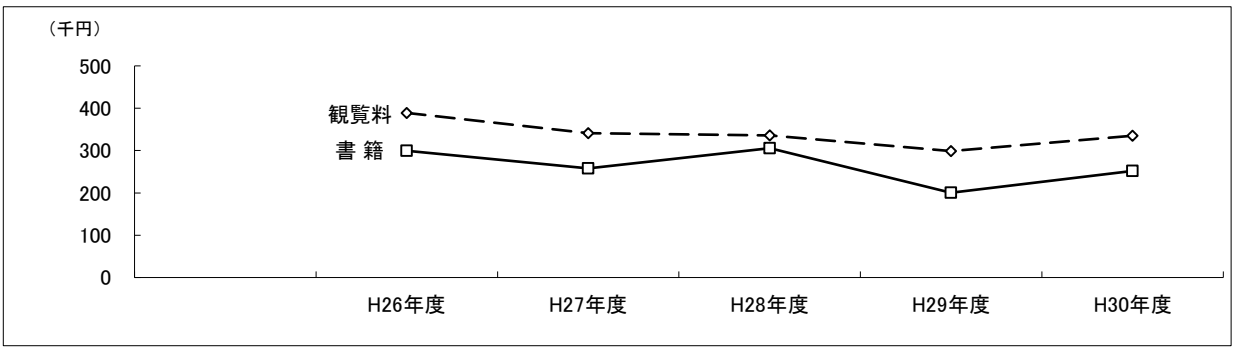


②観覧料等収入状況

松山市立埋蔵文化財センター（考古館）収入状況 5ヵ年推移　（円）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
観覧料	388,900	340,870	335,870	298,750	335,080
書籍	299,550	258,150	305,550	200,350	251,650
合計	688,450	599,020	641,420	499,100	586,730

○使用料収入状況５ヵ年推移



（６）松山市野外活動センター管理運営事業

本年度の利用者数は、82,907人で、前年度の189,590人に比べ106,683人（56.3%）減少している。また、使用料収入は、14,613,165円で、前年度の46,889,390円に比べ32,276,225円(68.8%)の減少である。

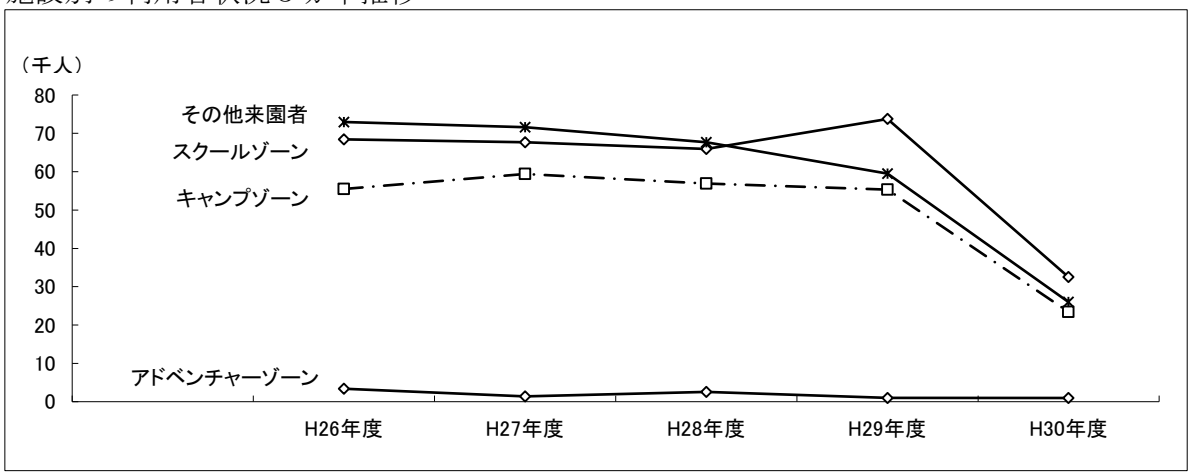
利用者数減少の要因は、西日本豪雨によるもので施設内に21箇所の崩落が発生し、12月19日まで166日間を休業したことによる。なお、平成31年3月末現在も完全復旧には至っていないため、本復旧工事が完了するまでの間は被災の影響が続く見込みである。

①利用者状況

利用者状況　５ヵ年推移　（人）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
スクールゾーン	68,397	67,701	65,892	73,747	32,501
キャンプゾーン	55,515	59,398	56,907	55,345	23,413
アドベンチャーゾーン	3,382	1,392	2,558	997	1,006
その他来園者	72,965	71,614	67,668	59,501	25,987
合計	200,259	200,105	193,025	189,590	82,907

○施設別の利用者状況５ヵ年推移

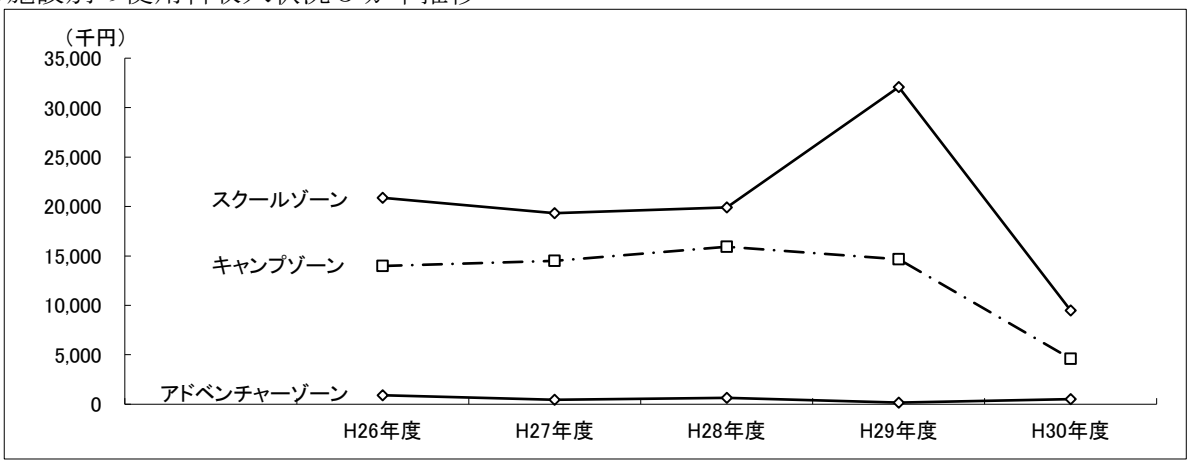


②使用料収入状況

使用料収入状況　５ヵ年推移　（円）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
スクールゾーン	20,891,000	19,328,550	19,894,905	32,077,240	9,483,030
キャンプゾーン	13,992,225	14,502,495	15,927,895	14,646,560	4,608,180
アドベンチャーゾーン	909,630	441,620	643,040	165,590	521,955
合計	35,792,855	34,272,665	36,465,840	46,889,390	14,613,165

○施設別の使用料収入状況５ヵ年推移



（７）北条スポーツセンター及び北条体育館管理運営事業

本年度の利用者数は、125,879人で、前年度の150,938人 に比べ25,059人（16.6%）減少している。また、使用料収入は、16,240,738円で、前年度の15,296,860円に比べ、943,878円(6.2%)増加している。

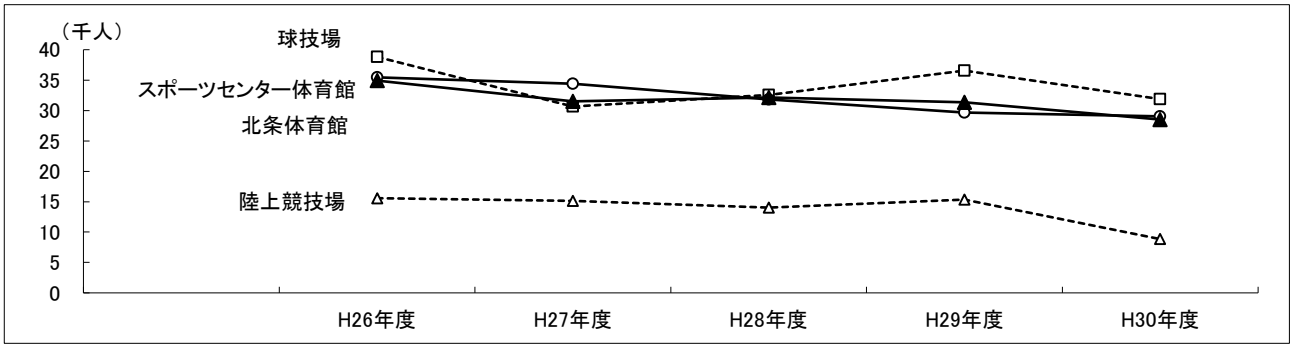
利用者が減少した主な要因としては、えひめ国体が終了したことにより強化練習や大会での来場者が少なくなったこと挙げられるが、減免利用となっていた会場が一般利用に戻ったことで使用料収入は増加となった。

①利用者状況

利用者状況５ヵ年推移　（人）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
陸上競技場	15,577	15,153	14,024	15,339	8,847
球技場	38,816	30,658	32,549	36,578	31,877
フットサル場	9,777	8,112	7,280	7,967	6,054
スポーツセンター体育館	34,918	31,506	32,153	31,361	28,516
ミーティングルーム	2,235	2,867	2,749	3,825	2,058
会議室等	6,137	5,144	5,820	7,342	4,453
野球場	－	－	14,937	14,099	9,581
北条体育館	35,451	34,400	31,829	29,659	29,035
武道場	3,158	3,668	3,682	4,768	5,458
合計	146,069	131,508	145,023	150,938	125,879

○施設別の利用者状況５ヵ年推移

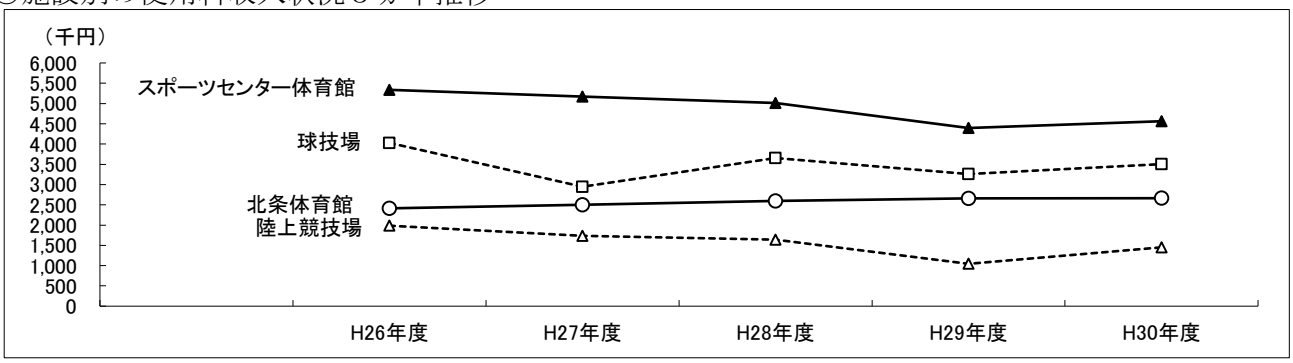


②使用料収入状況

使用料収入状況５ヵ年推移　（円）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
陸上競技場	1,984,840	1,738,670	1,638,020	1,044,990	1,448,740
球技場	4,028,310	2,947,070	3,658,100	3,259,640	3,505,970
フットサル場	1,711,050	1,420,070	1,340,080	963,780	1,159,560
スポーツセンター体育館	5,336,770	5,167,120	5,009,370	4,395,620	4,559,280
ミーティングルーム	269,340	217,030	291,400	251,100	247,600
会議室等	670,120	587,100	582,540	498,650	742,070
野球場	－	－	1,743,280	2,001,190	1,639,678
北条体育館	2,413,760	2,499,770	2,593,360	2,660,950	2,663,600
武道場	218,810	207,140	171,270	193,200	231,450
コインロッカー	109,220	23,300	45,800	27,740	42,790
合計	16,742,220	14,807,270	17,073,220	15,296,860	16,240,738

○施設別の使用料収入状況５ヵ年推移



❺ 庶務・管理

（1）平成 30 年度 評議員会・理事会の開催状況

評議員会

開催年月日	決議の内容		結果
平成 30 年 5 月 29 日	報告第 1 号	平成 29 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事業報告について	―
	議案第 1 号	平成 29 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団決算について	承認
	議案第 2 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団理事の任期満了に伴う改選について	可決
平成 30 年 7 月 24 日	議案第 3 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団評議員の選任について	可決
	議案第 4 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団理事の選任について	可決
平成 30 年 12 月 19 日	報告第 2 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団給与規程の一部改正について	―
平成 31 年 3 月 25 日	議案第 5 号	平成 31 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事業計画書及び収支予算書について	承認
	報告第 3 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団処務規程等の一部改正について	―
	報告第 4 号	松山市民会館外 5 件に係る指定管理について	―
	報告第 5 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団中期経営計画 2019-2022 について	―

理事会

開催年月日	決議の内容		結果
平成 30 年 5 月 14 日	議案第 1 号	平成 29 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事業報告及び決算について	承認
	議案第 2 号	平成 30 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団定時評議員会の招集について	可決
平成 30 年 5 月 29 日	議案第 3 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団理事長、副理事長及び常務理事の選定について	可決
平成 30 年 7 月 17 日	議案第 4 号	平成 30 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団臨時評議員会の招集について	可決
平成 30 年 8 月 7 日	議案第 5 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団副理事長(代表理事)の選定について	可決
平成 30 年 12 月 14 日	議案第 6 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団給与規程の一部改正について	可決
平成 31 年 3 月 14 日	議案第 7 号	平成 31 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団事業計画書及び収支予算書について	承認
	議案第 8 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団処務規程等の一部改正について	可決
	議案第 9 号	平成 30 年度公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団臨時評議員会の招集について	可決
	報告第 1 号	松山市民会館外 5 件に係る指定管理について	―
	報告第 2 号	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団中期経営計画 2019-2022 について	―

（２）評議員・理事・監事に関する事項

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの期間

評議員

辞任　栗原 久子

就任　清水 宣郎

■評議員名簿　（平成 31 年 3 月 31 日現在）

井上 洋一	梅岡 伸一郎	金澤 泰子
清水 宣郎	下條 信行	髙橋 二郎
竹政 秀俊	時川 裕之	中村 史郎
福井 美香	藤田 仁	矢野 大二

理　事

退任　塩出 卓一　　中山 紘治郎

辞任　西泉 彰雄

就任　片山 雅央　　北澤 剛　　開 忠和　　本田 元広

■理事名簿　（平成 31 年 3 月 31 日現在）

泉宗 義宏	片山　雅央	北澤　剛
土居 英雄	開　忠和	本田　元広

監　事

■監事名簿　（平成 31 年 3 月 31 日現在）

原田 光雄	山邊 彰三

財　務　諸　表

貸 借 対 照 表

平成３１年３月３１日現在

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	248,874,531	197,773,042	51,101,489
未収金	6,513,074	8,644,571	△2,131,497
前払金	1,557,410	1,544,130	13,280
立替金	20,111	0	20,111
貯蔵品	1,191,285	571,952	619,333
流動資産合計	258,156,411	208,533,695	49,622,716
２．固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	301,977,287	289,913,710	12,063,577
投資有価証券	848,022,713	860,086,290	△12,063,577
基本財産合計	1,150,000,000	1,150,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産			
定期預金	564,279,970	402,983,652	161,296,318
投資有価証券	49,881,320	157,799,129	△107,917,809
特定資産合計	614,161,290	560,782,781	53,378,509
(3)その他の固定資産			
什器備品			
取得価額	3,323,761	3,323,761	0
リース資産			
取得価額	26,233,933	26,233,933	0
減価償却累計額	△23,120,992	△19,081,500	△4,039,492
その他の固定資産合計	6,436,702	10,476,194	△4,039,492
固定資産合計	1,770,597,992	1,721,258,975	49,339,017
資　産　合　計	2,028,754,403	1,929,792,670	98,961,733
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	271,541,182	198,253,911	73,287,271
前受金	4,084,847	8,682,173	△4,597,326
預り金	10,794,313	8,926,245	1,868,068
仮受金	102,401,165	27,890,332	74,510,833
リース債務（短期）	2,922,902	4,164,521	△1,241,619
賞与引当金	54,506,540	52,234,604	2,271,936
流動負債合計	446,250,949	300,151,786	146,099,163
２．固定負債			
退職給付引当金	704,420,012	748,161,688	△43,741,676
リース債務（長期）	3,655,986	6,578,888	△2,922,902
固定負債合計	708,075,998	754,740,576	△46,664,578
負　債　合　計	1,154,326,947	1,054,892,362	99,434,585
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産	1,150,000,000	1,150,000,000	0
２．一般正味財産	△275,572,544	△275,099,692	△472,852
正味財産合計	874,427,456	874,900,308	△472,852
負債及び正味財産合計	2,028,754,403	1,929,792,670	98,961,733

正味財産増減計算書

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,735,110	2,409,246	325,864
基本財産受取利息	2,735,110	2,409,246	325,864
特定資産運用益	632,304	671,960	△ 39,656
特定資産受取利息	632,304	671,960	△ 39,656
事業収益	1,937,825,691	2,024,758,355	△ 86,932,664
指定管理料収益	1,820,818,875	1,885,682,020	△ 64,863,145
受託事業収益	64,800,526	87,491,535	△ 22,691,009
参加料等収益	45,595,890	44,411,400	1,184,490
入場料収益	6,610,400	7,173,400	△ 563,000
受取補助金等	66,068,960	69,459,648	△ 3,390,688
市補助金	66,068,960	69,459,648	△ 3,390,688
受取助成金	0	0	0
雑収益	1,538,834	1,645,367	△ 106,533
受取利息	5,044	5,047	△ 3
雇用保険料負担金	0	0	0
その他雑収益	1,533,790	1,640,320	△ 106,530
経常収益計	2,008,800,899	2,098,944,576	△ 90,143,677
(2) 経常費用			
事業費	2,006,599,565	2,072,377,002	△ 65,777,437
報酬	1,097,951	588,539	509,412
給料	330,444,706	338,516,252	△ 8,071,546
職員手当等	144,101,770	155,722,771	△ 11,621,001
賞与引当金繰入額	54,407,144	52,174,536	2,232,608
退職給付費用	89,464,042	58,699,156	30,764,886
福利厚生費	103,984,767	107,424,324	△ 3,439,557
賃金	173,133,922	179,758,204	△ 6,624,282
報償費	23,065,730	22,012,677	1,053,053
旅費交通費	1,221,719	1,187,986	33,733
交際費	15,000	10,000	5,000
消耗品費	49,326,842	48,848,821	478,021
燃料費	7,534,953	13,153,737	△ 5,618,784
食糧費	168,887	151,560	17,327
印刷製本費	10,552,980	9,479,613	1,073,367
光熱水費	267,952,974	279,510,992	△ 11,558,018
修繕料	19,975,284	20,972,064	△ 996,780
通信運搬費	5,717,744	6,212,789	△ 495,045
広告掲載料	231,714	1,183,720	△ 952,006
検査等手数料	13,166,039	16,153,432	△ 2,987,393
保険料	5,766,518	6,079,198	△ 312,680
使用料及び賃借料	45,980,396	58,528,942	△ 12,548,546
工事請負費	33,501,932	65,179,158	△ 31,677,226

科　　目	当年度	前年度	増　減
原材料費	6,167,655	6,525,118	△ 357,463
備品購入費	11,115,604	10,923,353	192,251
租税公課	64,213,458	67,622,161	△ 3,408,703
委託費	540,089,271	540,919,907	△ 830,636
リース資産減価償却費	4,039,492	4,562,491	△ 522,999
支払利息	161,071	275,501	△ 114,430
管理費	2,674,186	2,640,279	33,907
報酬	14,387	2,361	12,026
給料	495,012	152,587	342,425
職員手当等	329,246	92,689	236,557
賞与引当金繰入額	99,396	60,068	39,328
退職給付費用	113,572	95,313	18,259
福利厚生費	243,938	73,549	170,389
賃金	81,801	18,435	63,366
報償費	1,886	612	1,274
旅費交通費	39	0	39
消耗品費	19,962	4,918	15,044
印刷製本費	4,481	344	4,137
修繕料	978	1,867	△ 889
通信運搬費	5,729	2,594	3,135
検査等手数料	260	105	155
使用料及び賃借料	17,199	2,857	14,342
備品購入費	0	1,393	△ 1,393
支払負担金	1,014,518	2,063,609	△ 1,049,091
租税公課	175,429	55,265	120,164
委託費	56,353	11,713	44,640
補償金・賠償金	0	0	0
経常費用計	2,009,273,751	2,075,017,281	△ 65,743,530
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 472,852	23,927,295	△ 24,400,147
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 472,852	23,927,295	△ 24,400,147
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 472,852	23,927,295	△ 24,400,147
一般正味財産期首残高	△ 275,099,692	△ 299,026,987	23,927,295
一般正味財産期末残高	△ 275,572,544	△ 275,099,692	△ 472,852
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,150,000,000	1,150,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,150,000,000	1,150,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	874,427,456	874,900,308	△ 472,852

正味財産増減計算内訳表

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

（単位：円）

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合計
	公１	公２	公３	共通	小計	収１			
	文化振興事業	スポーツ振興事業	埋蔵文化財保存普及啓発事業			公益目的外への貸与及び駐車場売店			
Ⅰ 一般正味財産増減の部									
1 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	2,730,353	2,730,353	0	4,757	0	2,735,110
基本財産受取利息	0	0	0	2,730,353	2,730,353		4,757		2,735,110
特定資産運用益	124,182	340,290	57,657	0	522,129	100,714	9,461	0	632,304
特定資産受取利息	124,182	340,290	57,657		522,129	100,714	9,461	0	632,304
事業収益	364,935,536	1,037,701,285	244,075,378	0	1,646,712,199	287,415,058	3,698,434	0	1,937,825,691
指定管理料収益	345,580,139	1,006,602,739	178,020,352	0	1,530,203,230	286,917,211	3,698,434		1,820,818,875
受託事業収益	0	0	64,800,526	0	64,800,526	0	0		64,800,526
参加料等収益	12,744,997	31,098,546	1,254,500	0	45,098,043	497,847	0		45,595,890
入場料収益	6,610,400	0	0	0	6,610,400	0	0		6,610,400
受取補助金等	18,918,987	47,149,973	0	0	66,068,960	0	0	0	66,068,960
市補助金	18,918,987	47,149,973	0	0	66,068,960	0	0		66,068,960
受取助成金	0	0	0	0	0	0	0		0
雑収益	301,430	825,096	141,727	0	1,268,253	250,616	19,965	0	1,538,834
受取利息	1,030	2,650	476	0	4,156	874	14		5,044
雇用保険料負担金収入	0	0	0	0	0	0	0		0
その他雑収入	300,400	822,446	141,251	0	1,264,097	249,742	19,951		1,533,790
経常収益計	384,280,135	1,086,016,644	244,274,762	2,730,353	1,717,301,894	287,766,388	3,732,617	0	2,008,800,899
(2) 経常費用									
事業費	384,498,737	1,086,016,644	248,317,796	0	1,718,833,177	287,766,388		0	2,006,599,565
報酬	206,336	617,774	101,231		925,341	172,610			1,097,951
給料	68,983,148	159,453,682	54,278,958		282,715,788	47,728,918			330,444,706
職員手当等	30,220,064	72,094,333	20,691,222		123,005,619	21,096,151			144,101,770
賞与引当金繰入額	11,495,764	23,933,919	10,267,180		45,696,863	8,710,281			54,407,144
退職給付費用	17,928,845	39,193,934	18,419,067		75,541,846	13,922,196			89,464,042
福利厚生費	21,049,786	49,761,694	18,501,978		89,313,458	14,671,309			103,984,767
賃金	27,167,214	66,265,790	57,863,435		151,296,439	21,837,483			173,133,922
報償費	5,068,655	17,843,171	131,273		23,043,099	22,631			23,065,730

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合計
	公１	公２	公３	共通	小計	収１			
	文化振興事業	スポーツ振興事業	埋蔵文化財保存普及啓発事業			公益目的外への貸与及び駐車場売店			
旅費交通費	21,189	131,727	1,044,294		1,197,210	24,509			1,221,719
交際費	7,395	7,605	0		15,000	0			15,000
消耗品費	8,881,766	29,142,022	5,011,605		43,035,393	6,291,449			49,326,842
燃料費	2,171,989	3,391,368	584,906		6,148,263	1,386,690			7,534,953
食糧費	168,887	0	0		168,887	0			168,887
印刷製本費	1,885,732	3,191,811	4,782,665		9,860,208	692,772			10,552,980
光熱水費	45,821,354	177,696,546	6,863,818		230,381,718	37,571,256			267,952,974
修繕料	2,503,763	14,019,872	406,753		16,930,388	3,044,896			19,975,284
通信運搬費	985,536	3,032,546	1,090,324		5,108,406	609,338			5,717,744
広告掲載料	65,804	104,284	0		170,088	61,626			231,714
検査等手数料	1,548,612	9,315,508	604,234		11,468,354	1,697,685			13,166,039
保険料	758,443	4,088,323	494,623		5,341,389	425,129			5,766,518
使用料及び賃借料	11,052,996	11,191,955	20,283,095		42,528,046	3,452,350			45,980,396
工事請負費	4,339,708	22,333,747	1,920,240		28,593,695	4,908,237			33,501,932
原材料費	178,180	5,274,780	323,784		5,776,744	390,911			6,167,655
備品購入費	1,322,490	7,712,070	260,042		9,294,602	1,821,002			11,115,604
租税公課	12,597,068	28,912,734	12,698,167		54,207,969	10,005,489			64,213,458
委託費	107,058,618	336,171,717	9,984,853		453,215,188	86,874,083			540,089,271
リース資産減価償却費	970,690	1,090,259	1,644,477		3,705,426	334,066			4,039,492
支払利息	38,705	43,473	65,572		147,750	13,321			161,071
管理費							2,674,186	0	2,674,186
報酬							14,387		14,387
給料							495,012		495,012
職員手当等							329,246		329,246
賞与引当金繰入額							99,396		99,396
退職給付費用							113,572		113,572
福利厚生費							243,938		243,938
賃金							81,801		81,801
報償費							1,886		1,886
旅費交通費							39		39
消耗品費							19,962		19,962
印刷製本費							4,481		4,481
修繕料							978		978
通信運搬費							5,729		5,729

科　　目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合　計
	公１	公２	公３	共通	小計	収１			
	文　化 振興事業	スポーツ 振興事業	埋蔵文化財保存 普及啓発事業			公益目的外への 貸与及び駐車場売店			
検査手数料							260		260
使用料及び賃借料							17,199		17,199
備品購入費							0		0
支払負担金							1,014,518		1,014,518
租税公課							175,429		175,429
委託費							56,353		56,353
補償費・賠償金							0		0
経常費用計	384,498,737	1,086,016,644	248,317,796	0	1,718,833,177	287,766,388	2,674,186	0	2,009,273,751
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 218,602	0	△ 4,043,034	2,730,353	△ 1,531,283	0	1,058,431	0	△ 472,852
基本財産評価損益等					0				0
特定資産評価損益等					0				0
投資有価証券評価損益等					0				0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 218,602	0	△ 4,043,034	2,730,353	△ 1,531,283	0	1,058,431	0	△ 472,852
２　経常外増減の部									0
(1) 経常外収益									0
経常外収益計					0				0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									0
経常外費用計					0				0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額					0				0
当期一般正味財産増減額	△ 218,602	0	△ 4,043,034	2,730,353	△ 1,531,283	0	1,058,431	0	△ 472,852
一般正味財産期首残高			9	△ 276,621,267	△ 276,621,258		1,521,566		△ 275,099,692
一般正味財産期末残高	△ 218,602	0	△ 4,043,025	△ 273,890,914	△ 278,152,541	0	2,579,997	0	△ 275,572,544
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	1,150,000,000	1,150,000,000	0	0	0	1,150,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	1,150,000,000	1,150,000,000	0	0	0	1,150,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 218,602	0	△ 4,043,025	876,109,086	871,847,459	0	2,579,997	0	874,427,456

財務諸表に対する注記

１．重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

有価証券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却について

什器備品 ・・・ 定額法によっている。

リース資産・・・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数残存価格を零とする定額法によっている。

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数と残存価格を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準について

賞与引当金・・・・・・・支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

職員退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

なお、過年度引当不足額を１０年間にわたり分割計上することとしている。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込み方式を採用している。

２．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定　期　預　金	289,913,710	83,641,087	71,577,510	301,977,287
投 資 有 価 証 券	860,086,290	100,053,890	112,117,467	848,022,713
小　　計	1,150,000,000	183,694,977	183,694,977	1,150,000,000
特定資産				
退職給付引当資産				
定　期　預　金	402,983,652	382,679,970	221,383,652	564,279,970
投 資 有 価 証 券	157,799,129		107,917,809	49,881,320
小　　計	560,782,781	382,679,970	329,301,461	614,161,290
合　　計	1,710,782,781	566,374,947	512,996,438	1,764,161,290

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	301,977,287	(301,977,287)	(0)	－
投資有価証券	848,022,713	(848,022,713)	(0)	－
小　計	1,150,000,000	(1,150,000,000)	(0)	－
特定資産				
退職給付引当資産				
定期預金	564,279,970	(0)	(0)	(564,279,970)
投資有価証券	49,881,320	(0)	(0)	(49,881,320)
小　計	614,161,290	(0)	(0)	(614,161,290)
合　計	1,764,161,290	(1,150,000,000)	(0)	(614,161,290)

4. 担保に供している資産

該当なし

５．固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什　器　備　品	3,323,761	3,323,752	9
リ　ー　ス　資　産	26,233,933	19,797,240	6,436,693
合　　計	29,557,694	23,120,992	6,436,702

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

7. 保証債務

該当なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	帳簿価格	時価	評価損益
基本財産			
利付国債10年 第332回 伊予銀行	117,974,080	122,403,780	4,429,700
利付国債10年 第337回 愛媛銀行	112,030,394	115,321,860	3,291,466
利付国債10年 第337回 伊予銀行	117,629,414	121,085,380	3,455,966
大阪府公債10年 第427回 伊予銀行	200,000,000	202,340,000	2,340,000
大阪府公債10年 第436回 伊予銀行	100,045,825	101,310,000	1,264,175
北海道公債10年 平成29年第13回 愛媛銀行	200,343,000	202,680,000	2,337,000
小　　計	848,022,713	865,141,020	17,118,307
特定資産退職給付引当資産			
利付国債10年 第332回 伊予銀行	49,881,320	51,754,270	1,872,950
小　　計	49,881,320	51,754,270	1,872,950
合　　計	897,904,033	916,895,290	18,991,257

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
文化・スポーツ振興財団管理運営補助金	松山市	0	61,398,249	61,398,249	0	－
文化・スポーツ振興事業補助金	松山市	0	4,670,711	4,670,711	0	－
合　　計		0	66,068,960	66,068,960	0	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

12. リース取引関係

(1) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

公益法人会計システム（什器備品、ソフトウェア）

インターネットパソコン等（什器備品、ソフトウェア）

グループウェア及びパソコン等（什器備品、ソフトウェア）

(2)所有権移転ファイナンスリース取引

リース資産の内容

プラネタリウムビデオシステム(工具器具及び備品)

13. 重要な後発事象

該当なし

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	748,161,688	89,577,614	133,319,290	0	704,420,012
賞与引当金	52,234,604	54,506,540	52,234,604	0	54,506,540

財　産　目　録

平成３１年３月３１日現在

（単位：円）

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）			
現金	手元保管	運転資金	1,529,520
預金	普通預金	運転資金	247,345,011
	伊予銀行　松山市役所支店	コミュニティセンター管理口座	48,280,361
	愛媛銀行　松山市役所支店	中央公園管理口座	50,917,982
	伊予銀行　松山市役所支店	市民会館管理口座	14,267,477
	伊予銀行　松山市役所支店	埋蔵文化財センター管理口座	16,872,559
	伊予銀行　松山市役所支店	埋蔵文化財センター発掘口座	1,653,064
	愛媛銀行　松山市役所支店	野外活動センター管理口座	41,482,047
	愛媛銀行　北条支店	北条スポーツセンター・北条体育館管理口座	17,261,328
	伊予銀行　松山市役所支店	補助金管理口座	10,278,039
	伊予銀行　松山市役所支店	一般管理口座	27,970,420
	伊予銀行　松山市役所支店	預り金口座	18,361,734
特定資産	普通預金	職員の退職金支払の財源としている。	0
退職給付引当資産	伊予銀行 松山市役所支店		0
未収金		埋蔵文化財発掘調査委託料 外	6,513,074
前払金		事業にかかる普通傷害保険	1,557,410
立替金		子育ひろば電気代	20,111
貯蔵品		切手、収入印紙	1,191,285
流動資産合計			258,156,411
（固定資産）			
基本財産			1,150,000,000
定期預金		公益目的保有財産であり、運用益を公益事業財源として使用している。	301,977,287
	伊予銀行 松山市役所支店		153,828,091
	愛媛銀行 松山市役所支店		148,149,196
投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益を公益事業財源として使用している。	848,022,713
	利付国債10年 第332回伊予銀行松山市役所支店		117,974,080
	利付国債10年 第337回伊予銀行松山市役所支店		117,629,414
	利付国債10年 第337回愛媛銀行松山市役所支店		112,030,394
	第427回大阪府公債		200,000,000
	第436回大阪府公債		100,045,825
	平成29年13回北海道公債		200,343,000
特定資産			614,161,290
退職給付引当資産	定期預金	職員の退職金支払の財源として積み立てている。	564,279,970
	伊予銀行 松山市役所支店		287,527,696

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
	愛媛銀行 松山市役所支店		276,752,274
	投資有価証券		49,881,320
	利付国債10年 第332回伊予銀行松山市役所支店		49,881,320
その他の固定資産			6,436,702
什器備品	測量機器等９点	公益目的保有財産であり、埋蔵文化財保存・普及啓発事業で使用している。	9
リース資産	会計システム・プラネタリウムビデオシステム	公益目的保有財産であり財団全体で使用している。	6,436,693
固定資産合計			1,770,597,992
資産合計			2,028,754,403
（流動負債）			
未払金		公益目的事業に供する光熱水費他	271,541,182
前受金		公益目的事業に供する参加者負担金	4,084,847
預り金		公益目的事業に供する社会保険料他	10,794,313
仮受金		公益目的事業に供する施設使用料の未払	102,401,165
リース債務	会計システム・プラネタリウムビデオシステム	公益目的事業に供する資産の債務	2,922,902
賞与引当金	職員に係るもの	職員に対する賞与の支払いに備えたもの	54,506,540
流動負債合計			446,250,949
（固定負債）			
退職給付引当金	職員に係るもの	職員に対する退職金の支払に備えたもの	704,420,012
リース債務	会計システム・プラネタリウムビデオシステム	公益目的事業に供する資産の債務	3,655,986
固定負債合計			708,075,998
負債合計			1,154,326,947
正味財産			874,427,456

監　査　報　告　書

監　査　報　告　書

令和元年5月7日

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
理事長　　本田元広　　殿

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

監事　原田光雄

監事　山邊彰三

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度における理事の職務執行の監査を行い、次のとおり報告する。

1　監査の方法及びその内容

(1)　業務監査については、理事及び使用人から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討した。

(2)　会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、計算書類の正確性を検討した。

2　監査意見

(1)　事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

(2)　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

(3)　収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める。